



兵庫県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

令和4年度 兵庫県内市町 公営企業の経営指標



1. 水道事業

【1-1】	経常収支比率の状況	1
【1-2】	料金回収率の状況	3
【1-3】	施設利用率の状況	5
【1-4】	管路経年化率の状況	7
【1-5】	一般会計等繰入金が標準財政規模に占める割合の状況	9
【1-6】	水道料金（家庭用 13 mm 20 m ³ /月）の状況（令和5年3月31日時点）	11
【1-7】	参考指標 資産（現金及び現金同等物）の状況（法適用）	12

2. 病院事業

【2-1】	経常収支比率の状況	13
【2-2】	医業収支比率の状況	15
【2-3】	職員給与費対医業収益比率の状況	17
【2-4】	一般会計等繰入金が標準財政規模に占める割合の状況	19
【2-5】	参考指標 資産（現金及び現金同等物）の状況（法適用）	21
	市町立等病院の位置図	22

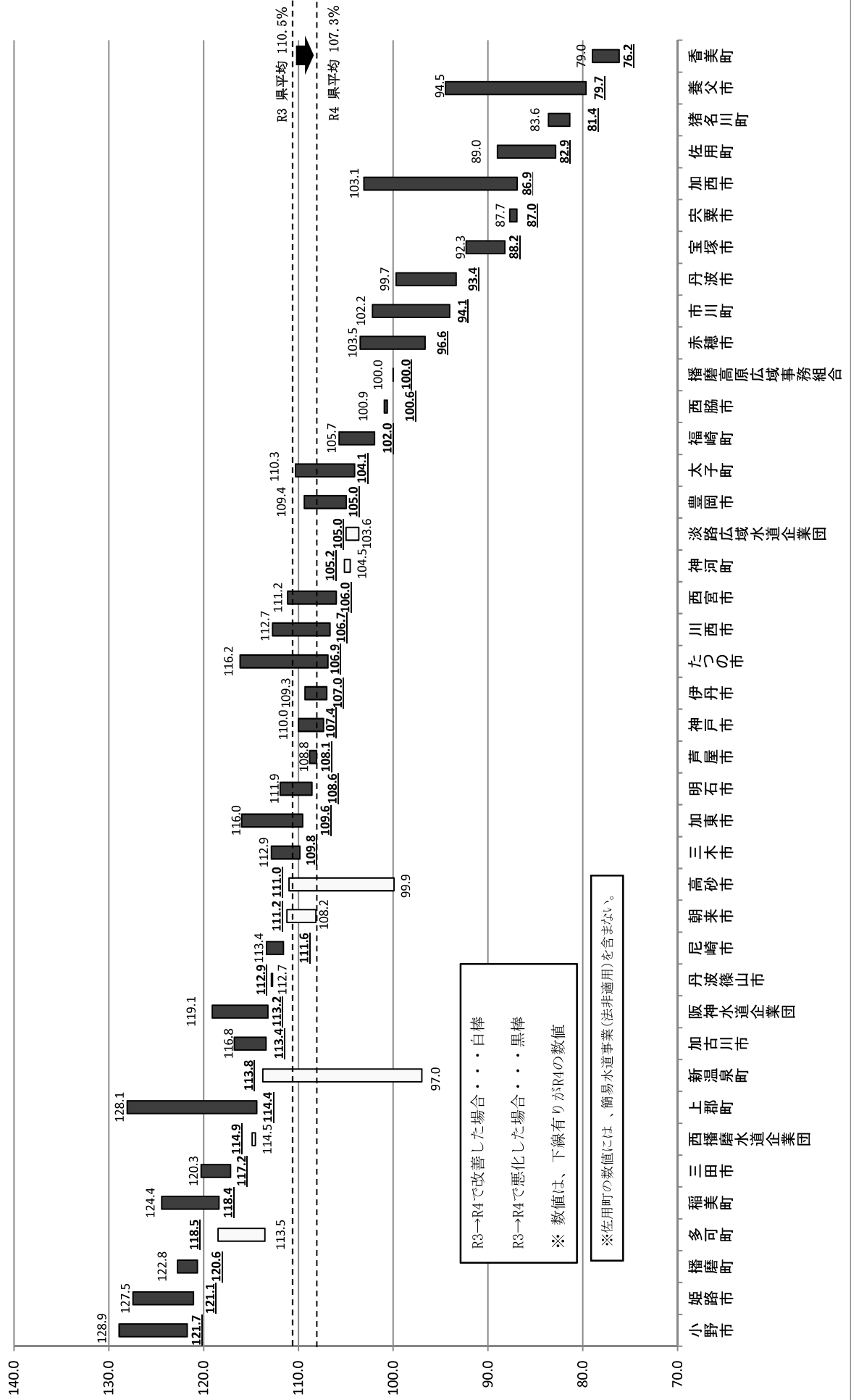
3. 下水道事業

【3-1】	公共下水道（法適用）の経常収支比率の状況	23
【3-2】	公共下水道（法適用）の経費回収率の状況	25
【3-3】	公共下水道（法適用）の施設利用率の状況	27
【3-4】	公共下水道（法適用）の管渠老朽化率の状況	29
【3-5】	特定環境保全公共下水道（法適用）の経常収支比率の状況	31
【3-6】	特定環境保全公共下水道（法適用）の経費回収率の状況	33
【3-7】	一般会計等繰入金が標準財政規模に占める割合の状況	35
【3-8】	下水道使用料（家庭用 20 m ³ /月）の状況（令和5年3月31日時点）	37
【3-9】	参考指標 資産（現金及び現金同等物）の状況（法適用）	38

4. 各指標の説明

経常収支比率の対前年度比較(水道事業)

(単位：%)



R3→R4で改善した場合・・・白棒
R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
※ 数値は、下線有りがR4の数値

※佐用町の数値には、簡易水道事業(法非適用)を含まない。

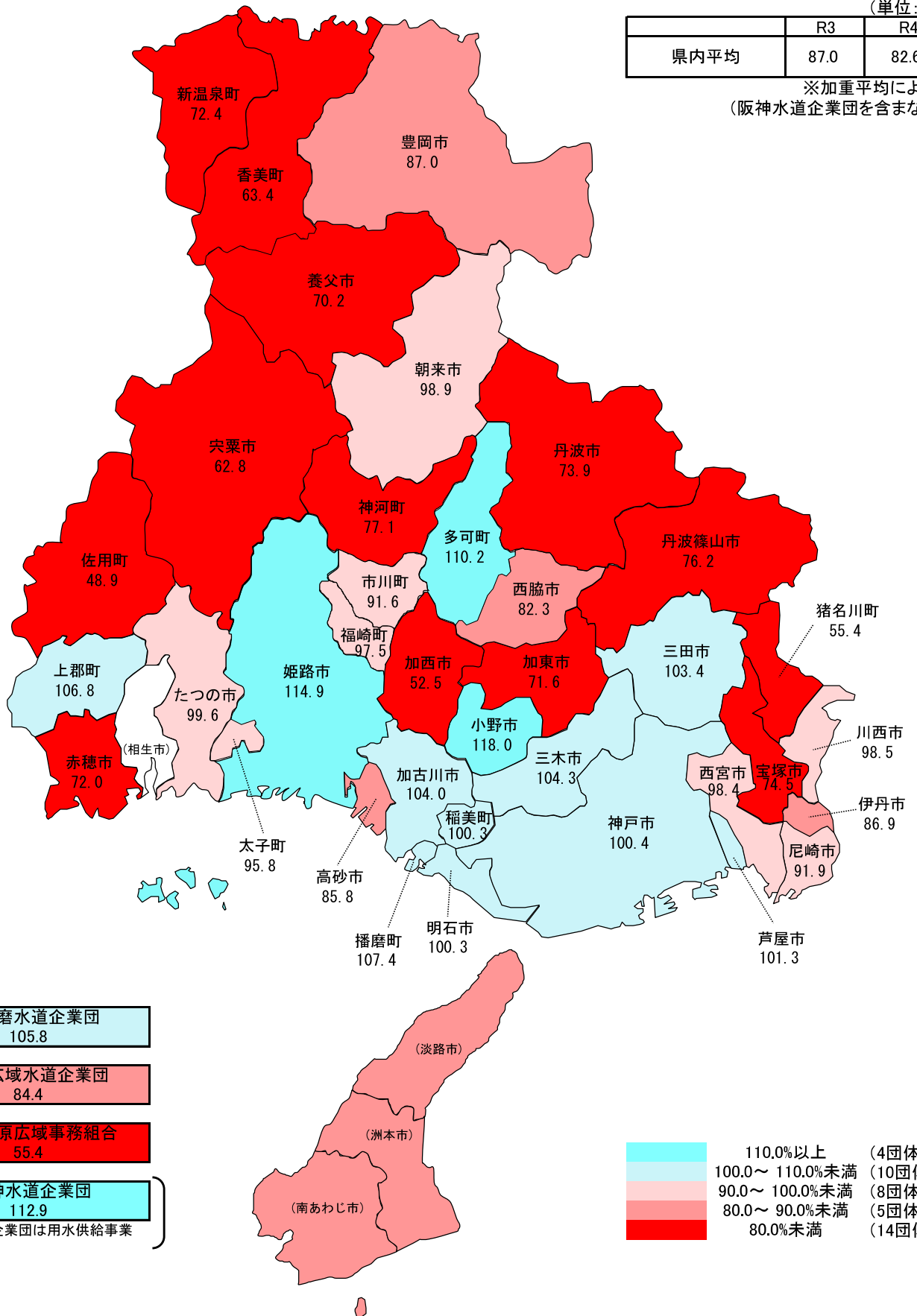
水道事業 【1-2】

料金回収率の状況

(単位: %)

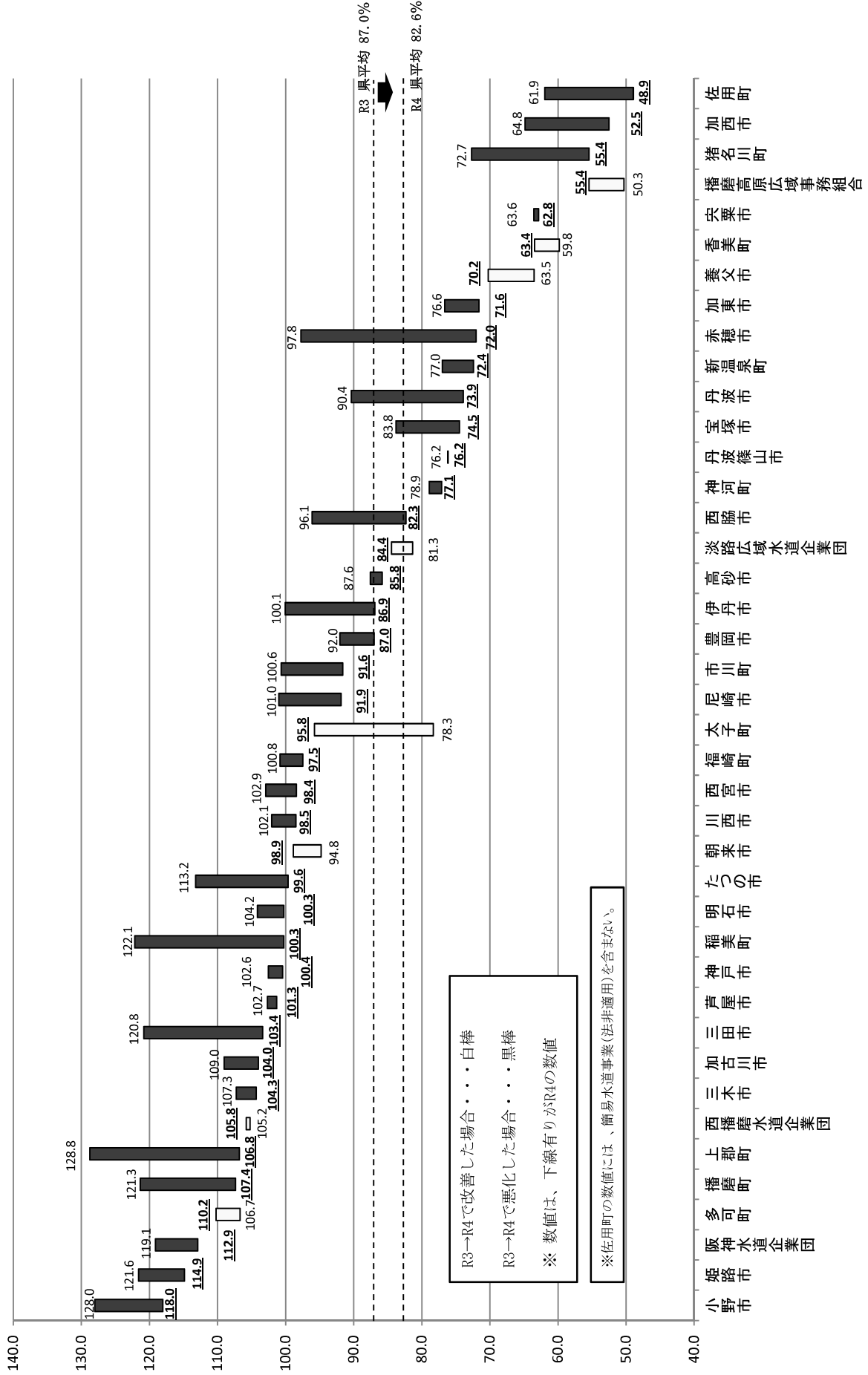
	R3	R4
県内平均	87.0	82.6

※加重平均による。
(阪神水道企業団を含まない)



料金回収率の対前年度比較(水道事業)

(単位: %)



R3→R4で改善した場合・・・白棒
 R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
 ※ 数値は、下線有りがR4の数値

※佐用町の数値には、簡易水道事業(法非適用)を含まない。

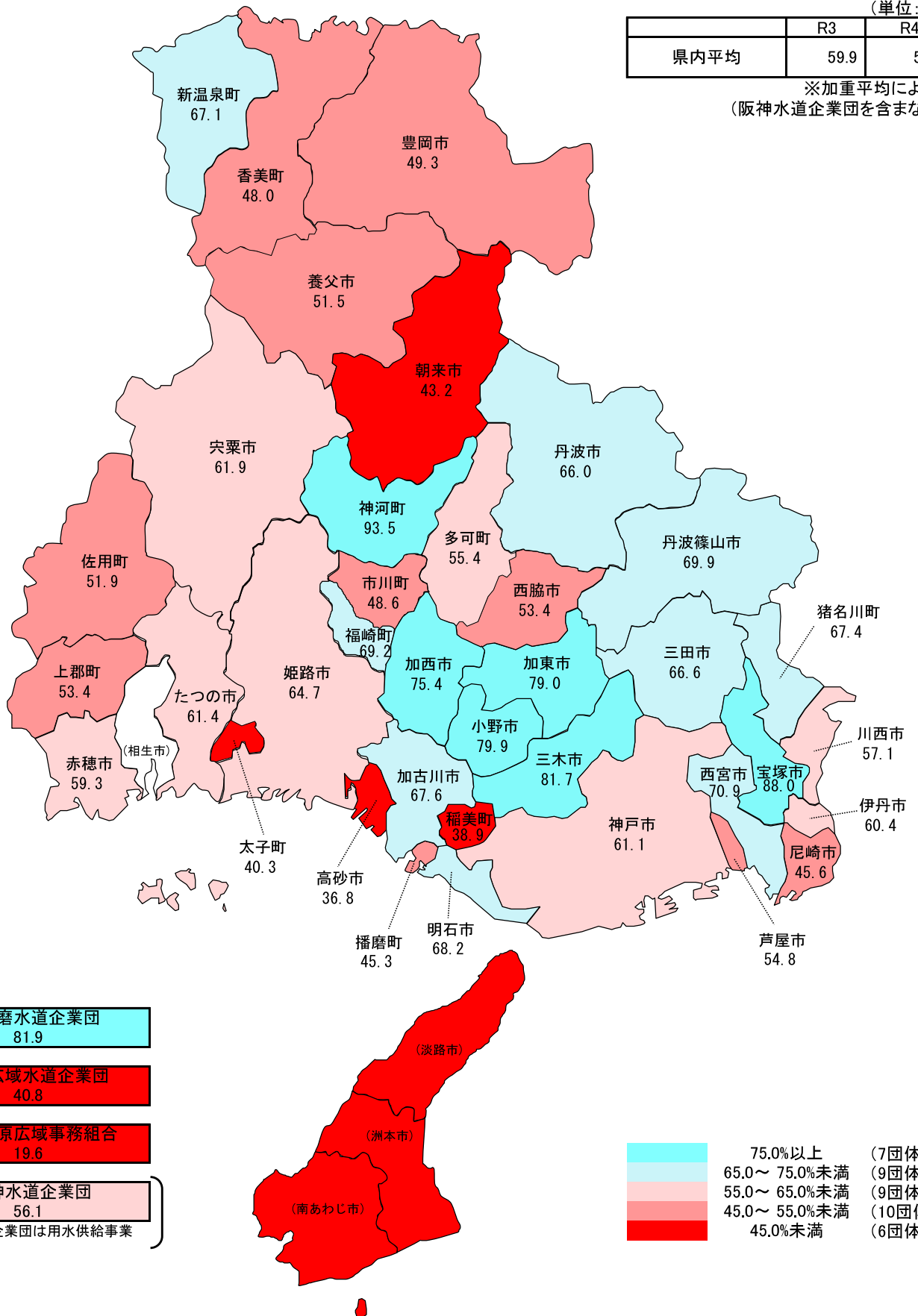
水道事業 【1-3】

施設利用率の状況

(単位:%)

	R3	R4
県内平均	59.9	59.8

※加重平均による。
(阪神水道企業団を含まない)



西播磨水道企業団 81.9

淡路広域水道企業団 40.8

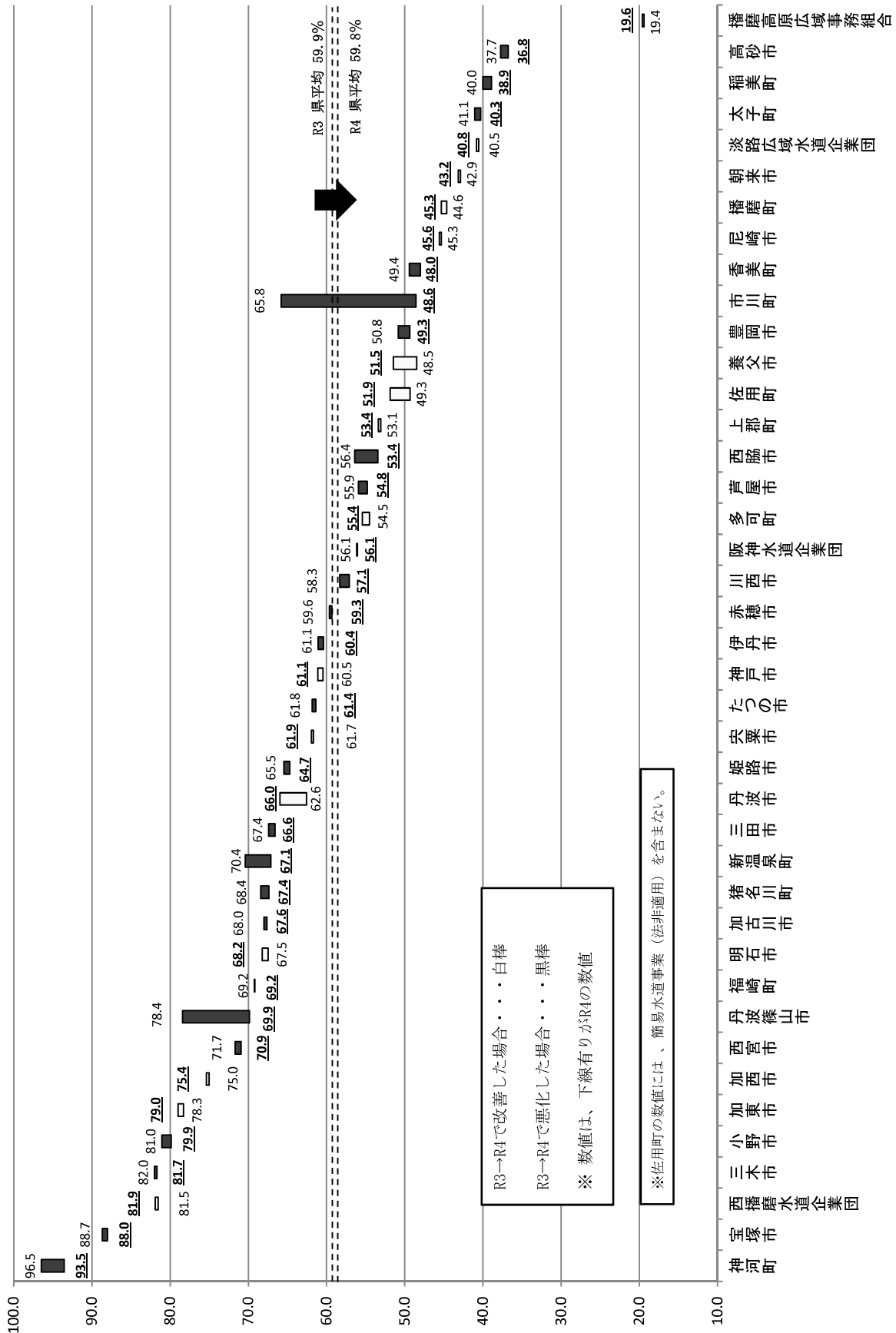
播磨高原広域事務組合 19.6

阪神水道企業団 56.1
※ 阪神水道企業団は用水供給事業

75.0%以上 (7団体)
65.0~75.0%未満 (9団体)
55.0~65.0%未満 (9団体)
45.0~55.0%未満 (10団体)
45.0%未満 (6団体)

施設利用率の対前年度比較(水道事業)

(単位：%)



R3→R4で改善した場合・・・白棒
 R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
 ※ 数値は、下線有りがR4の数値

※佐用町の数値には、簡易水道事業(法非適用)を含まない。

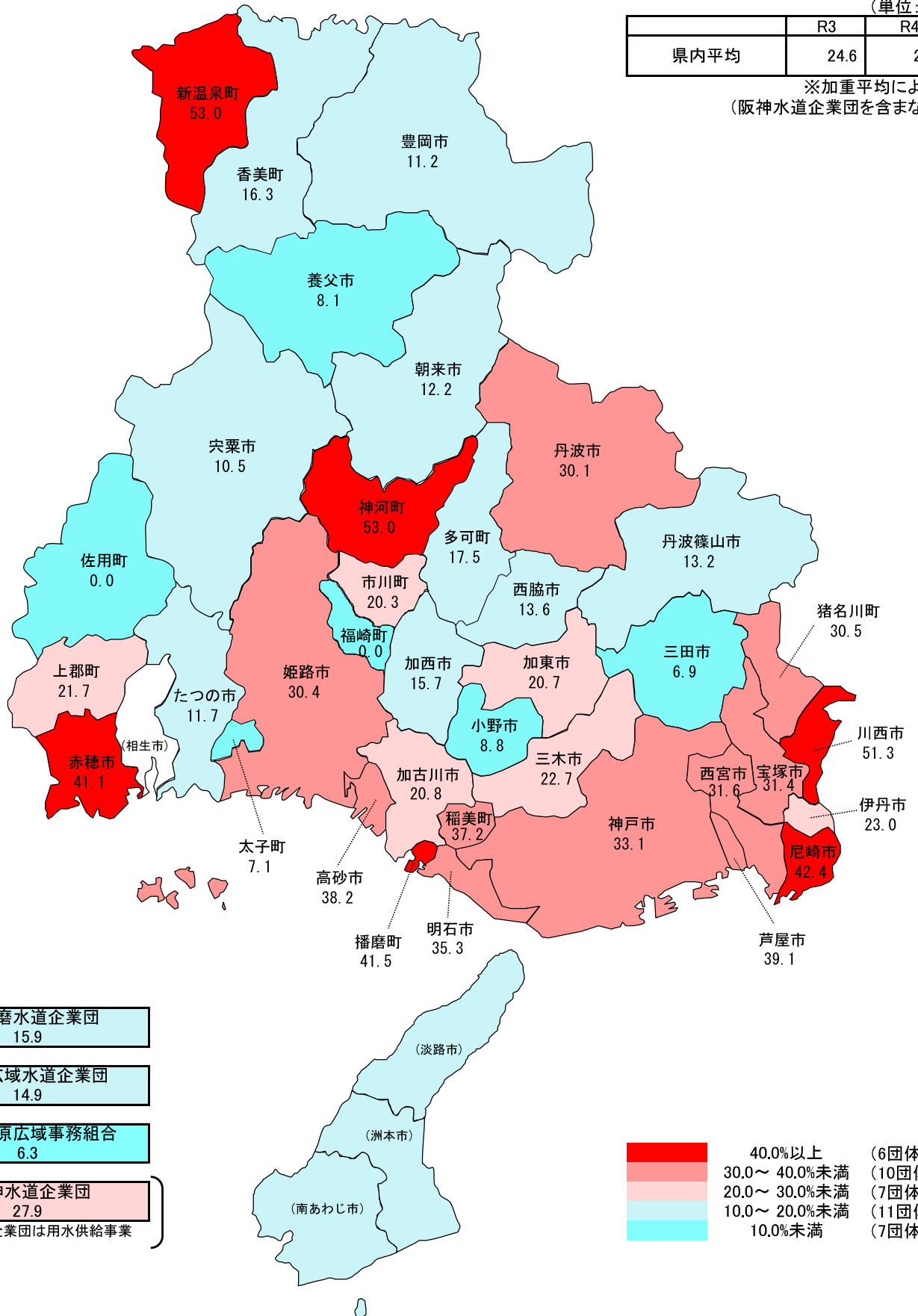
水道事業 【1-4】

管路経年化率の状況

(単位: %)

	R3	R4
県内平均	24.6	25.9

※加重平均による。
(阪神水道企業団を含まない)



西播磨水道企業団
15.9

淡路広域水道企業団
14.9

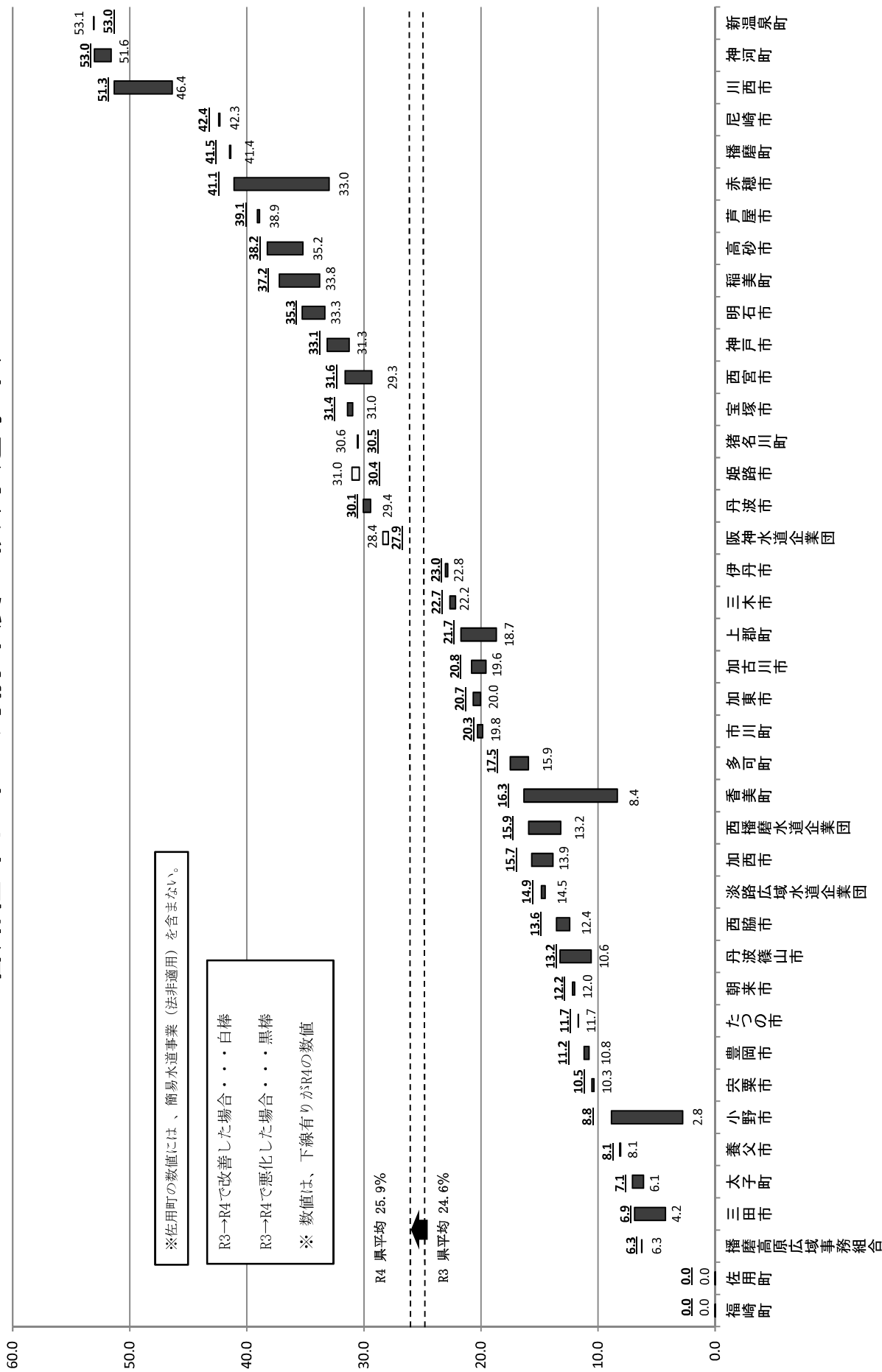
播磨高原広域事務組合
6.3

阪神水道企業団
27.9
※ 阪神水道企業団は用水供給事業

40.0%以上 (6団体)
30.0~40.0%未満 (10団体)
20.0~30.0%未満 (7団体)
10.0~20.0%未満 (11団体)
10.0%未満 (7団体)

管路経年化率の対前年度比較(水道事業)

(単位: %)



※佐用町の数値には、簡易水道事業(法非適用)を含まない。

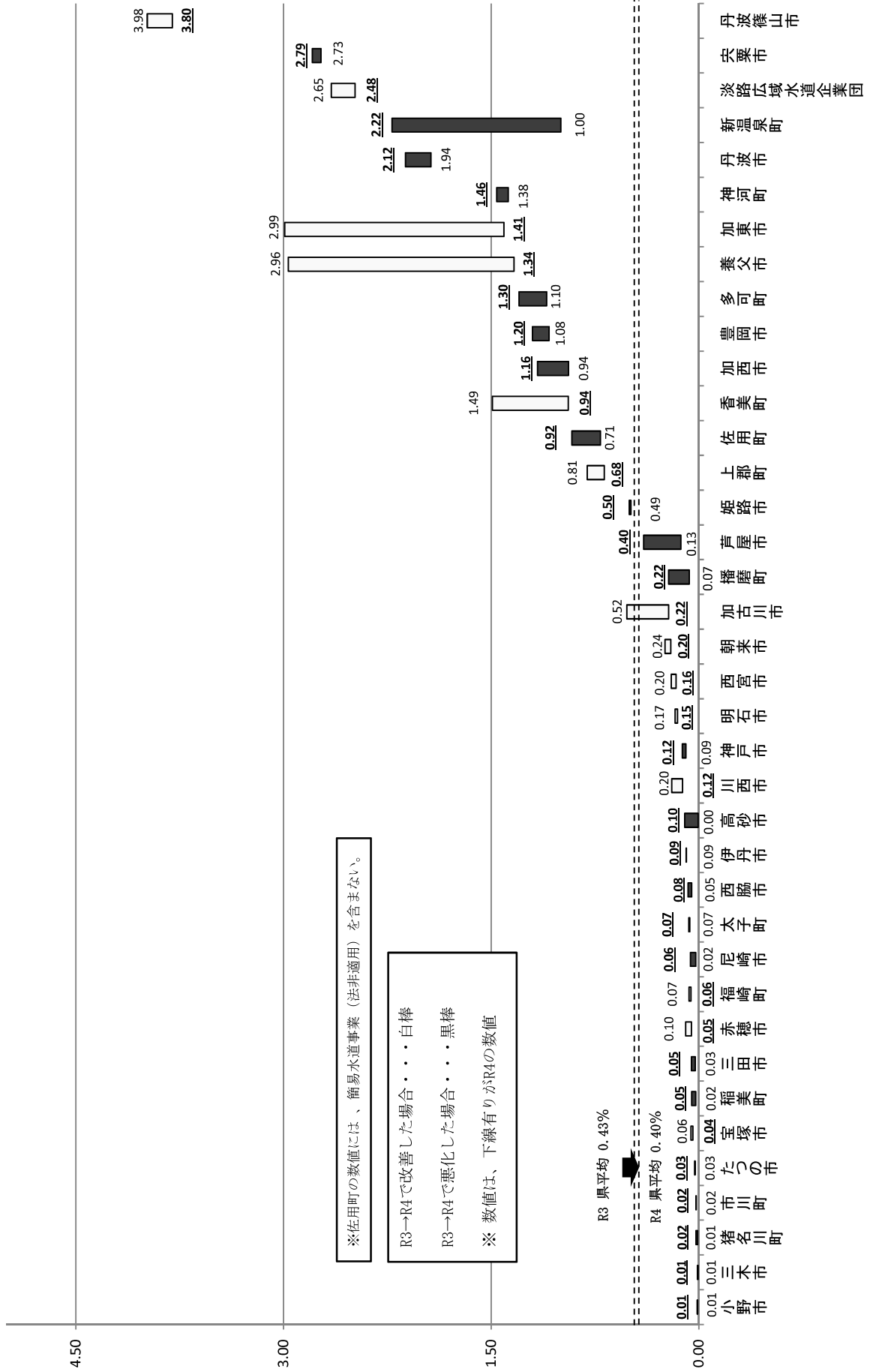
R3→R4で改善した場合・・・白棒
 R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
 ※数値は、下線有りがR4の数値

R4 県平均 25.9%

R3 県平均 24.6%

一般会計等繰入金が標準財政規模に占める割合の対前年比(水道事業)

(単位: %)



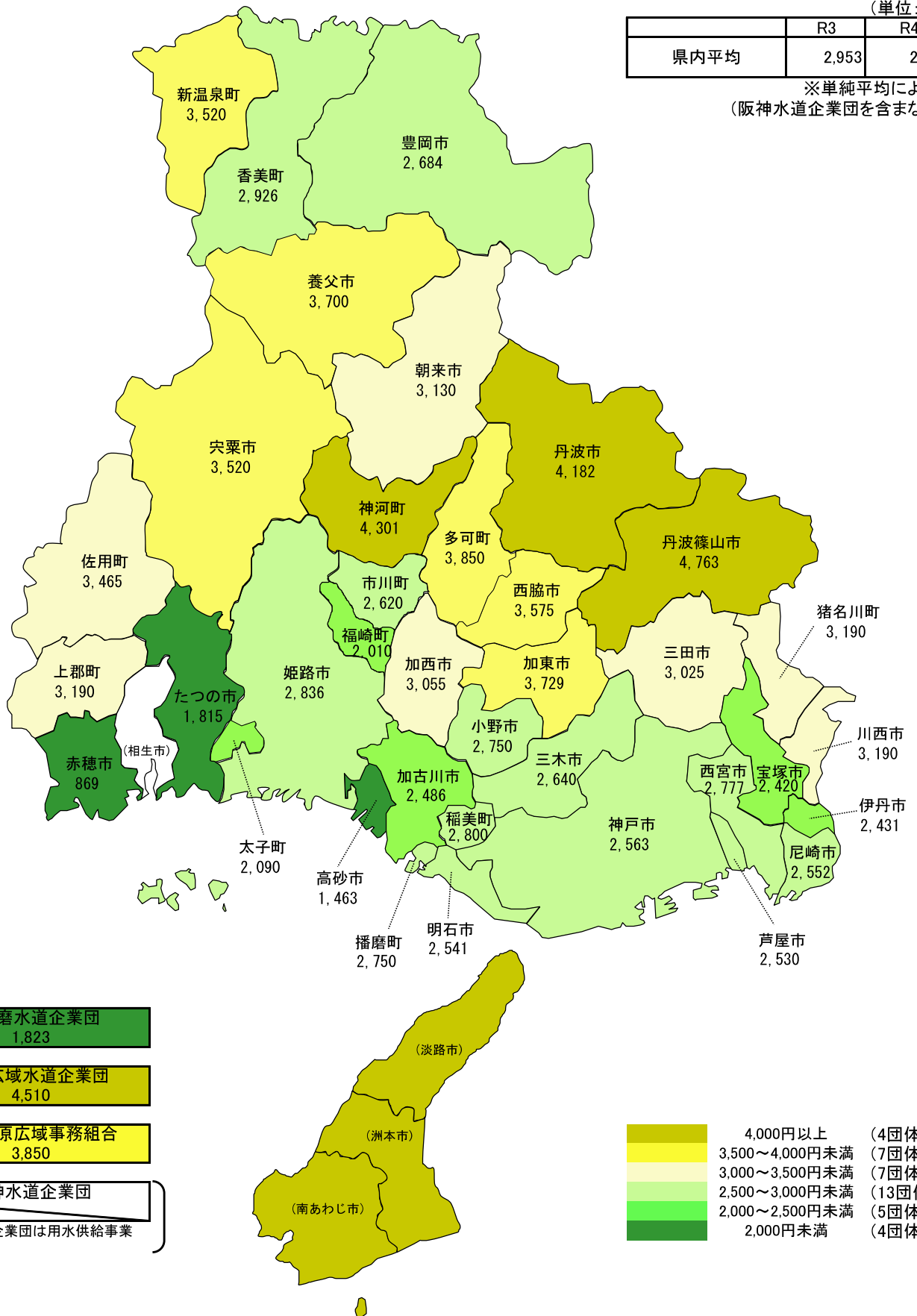
水道事業 【1-6】

水道料金(家事用13mm 20m³/月、税込)の状況
(令和5年3月31日時点)

(単位:円)

	R3	R4
県内平均	2,953	2,953

※単純平均による。
(阪神水道企業団を含まない)

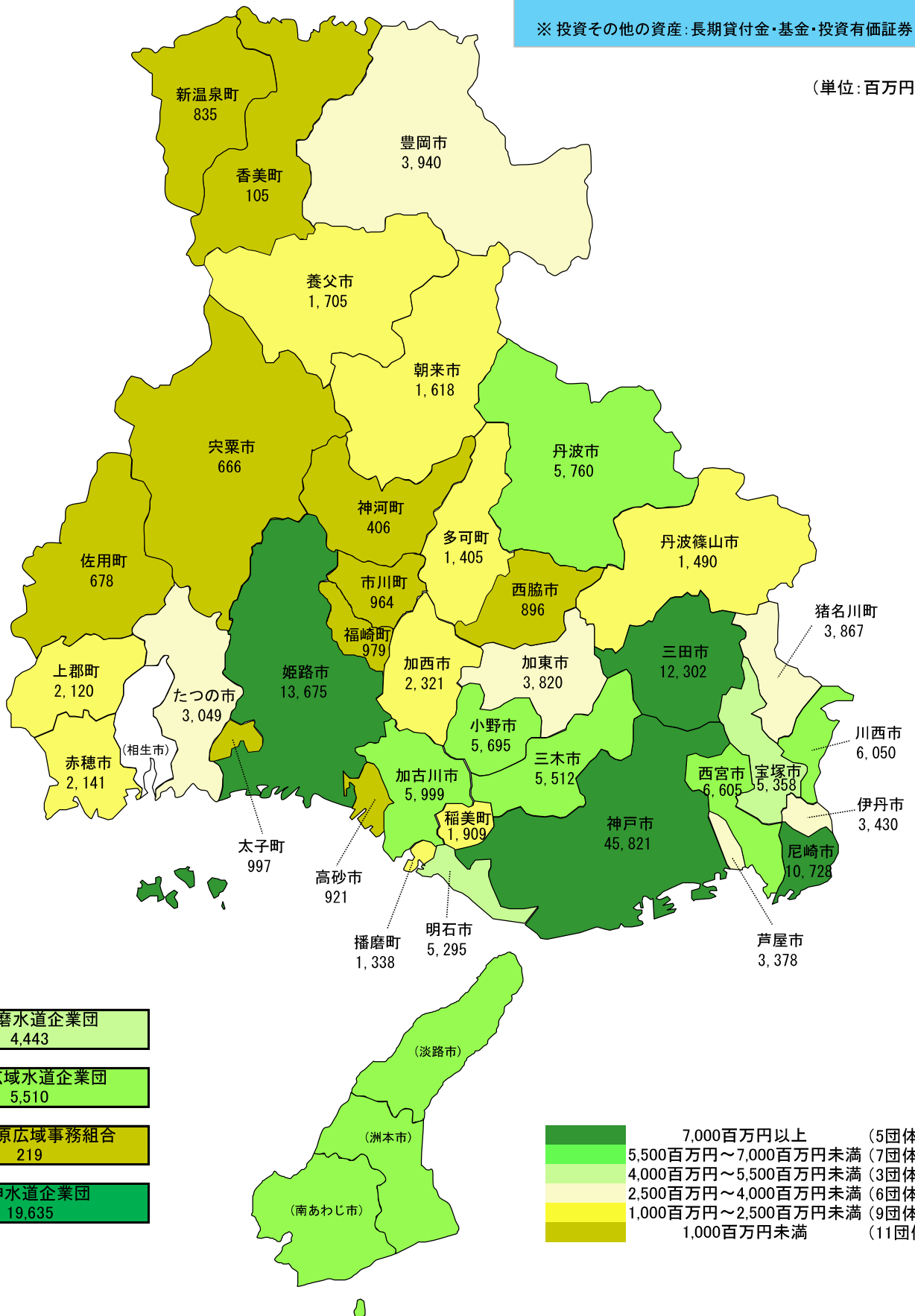


水道事業 【1-7】 (参考指標) 資産(現金及び現金同等物)の状況

算式:流動資産 + 投資その他の資産 - 一時借入金

※ 投資その他の資産:長期貸付金・基金・投資有価証券

(単位:百万円)

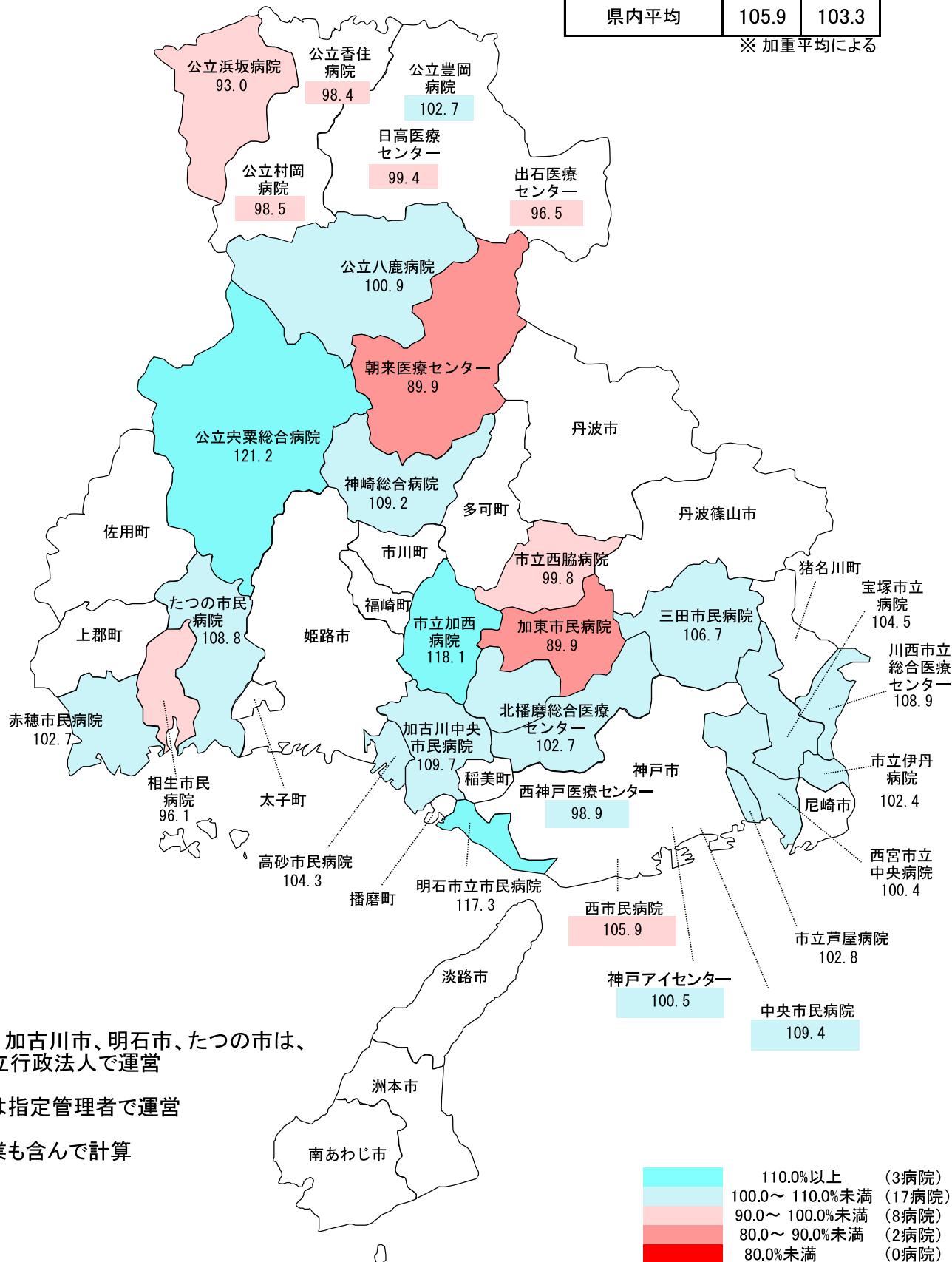


病院事業【2-1】令和4年度兵庫県内の市町等立病院の経常収支比率の状況

(単位:%)

	R3	R4
県内平均	105.9	103.3

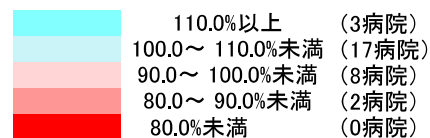
※ 加重平均による



※ 神戸市、加古川市、明石市、たつの市は、地方独立行政法人で運営

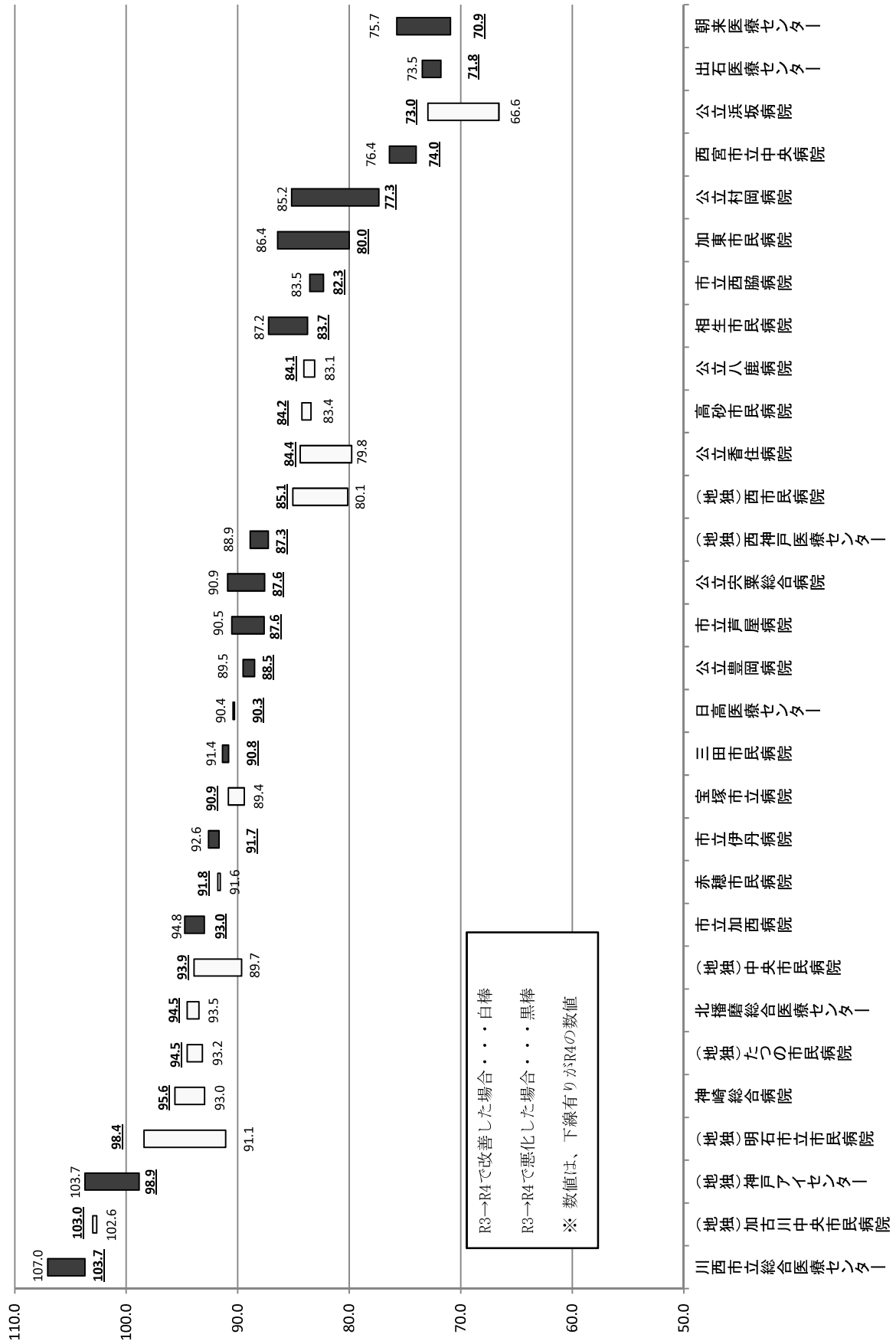
※ 川西市は指定管理者で運営

※ 附帯事業も含んで計算



医業収支比率の対前年度比較(病院事業)

(単位：%)



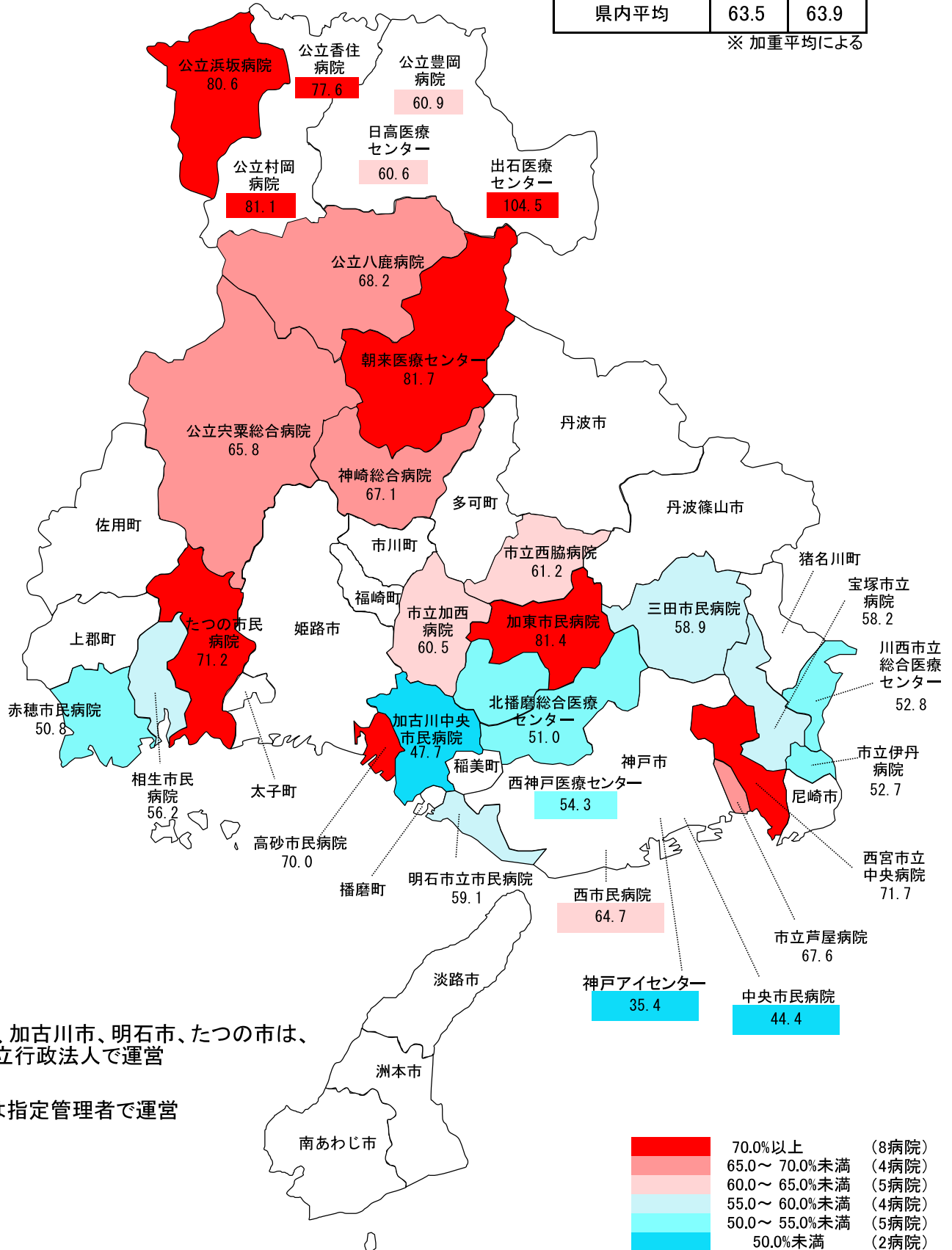
R3→R4で改善した場合・・・白棒
 R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
 ※ 数値は、下線有りがR4の数値

病院事業【2-3】令和4年度兵庫県内の市町等立病院の職員給与費対医業収益比率の状況

(単位:%)

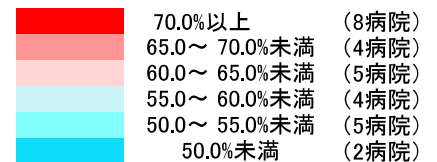
	R3	R4
県内平均	63.5	63.9

※ 加重平均による



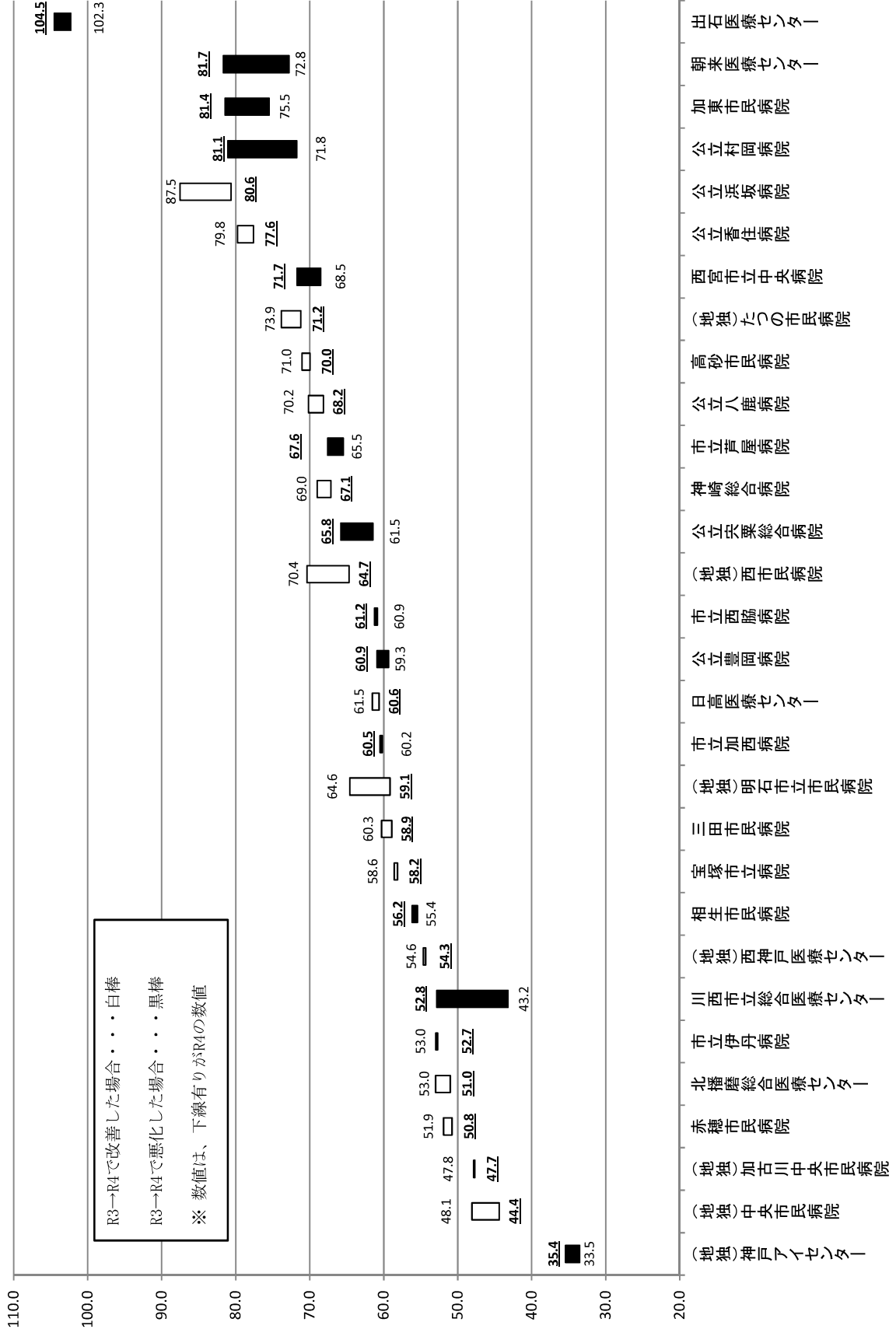
※ 神戸市、加古川市、明石市、たつの市は、地方独立行政法人で運営

※ 川西市は指定管理者で運営



職員給与と費対医業収益比率の対前年度比較(病院事業)

(単位: %)



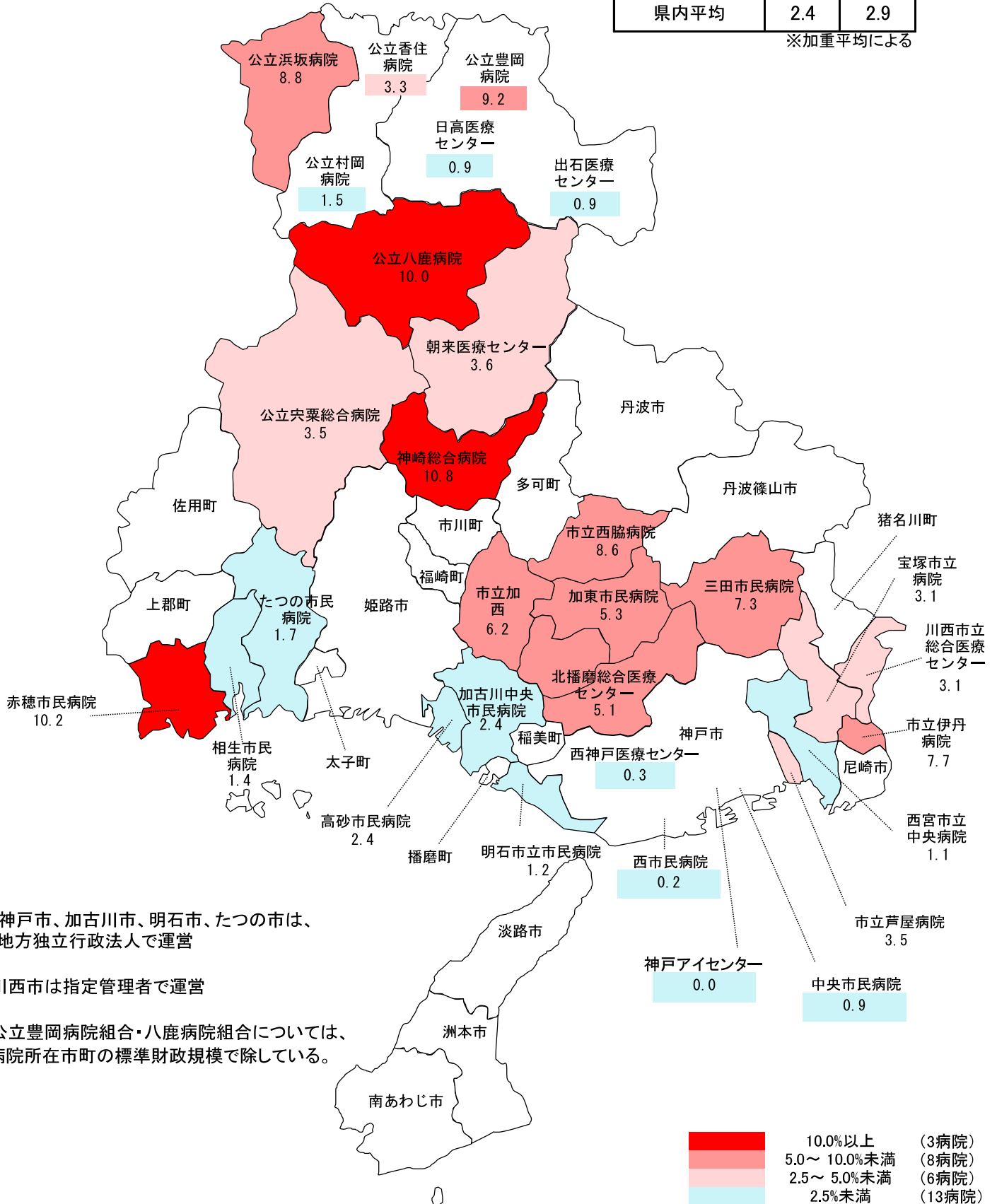
R3→R4で改善した場合・・・白棒
 R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
 ※ 数値は、下線有りがR4の数値

病院事業【2-4】令和4年度兵庫県内市町の病院事業に対する 一般会計等繰入金が標準財政規模に占める割合の状況

(単位: %)

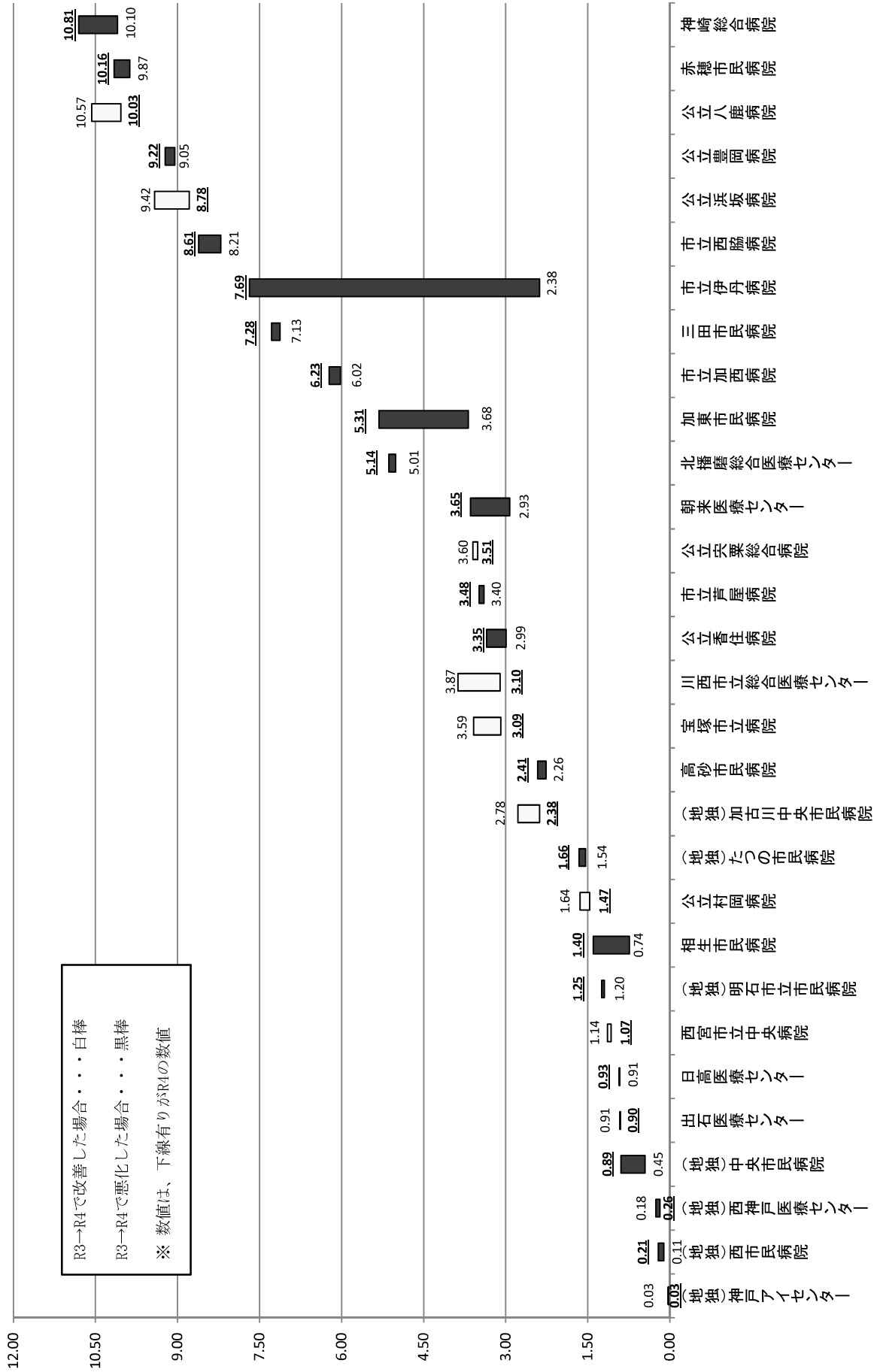
	R3	R4
県内平均	2.4	2.9

※加重平均による



一般会計等繰入金が標準財政規模に占める割合の対前年比(病院事業)

(単位: %)



R3→R4で改善した場合・・・白棒
 R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
 ※ 数値は、下線有りがR4の数値

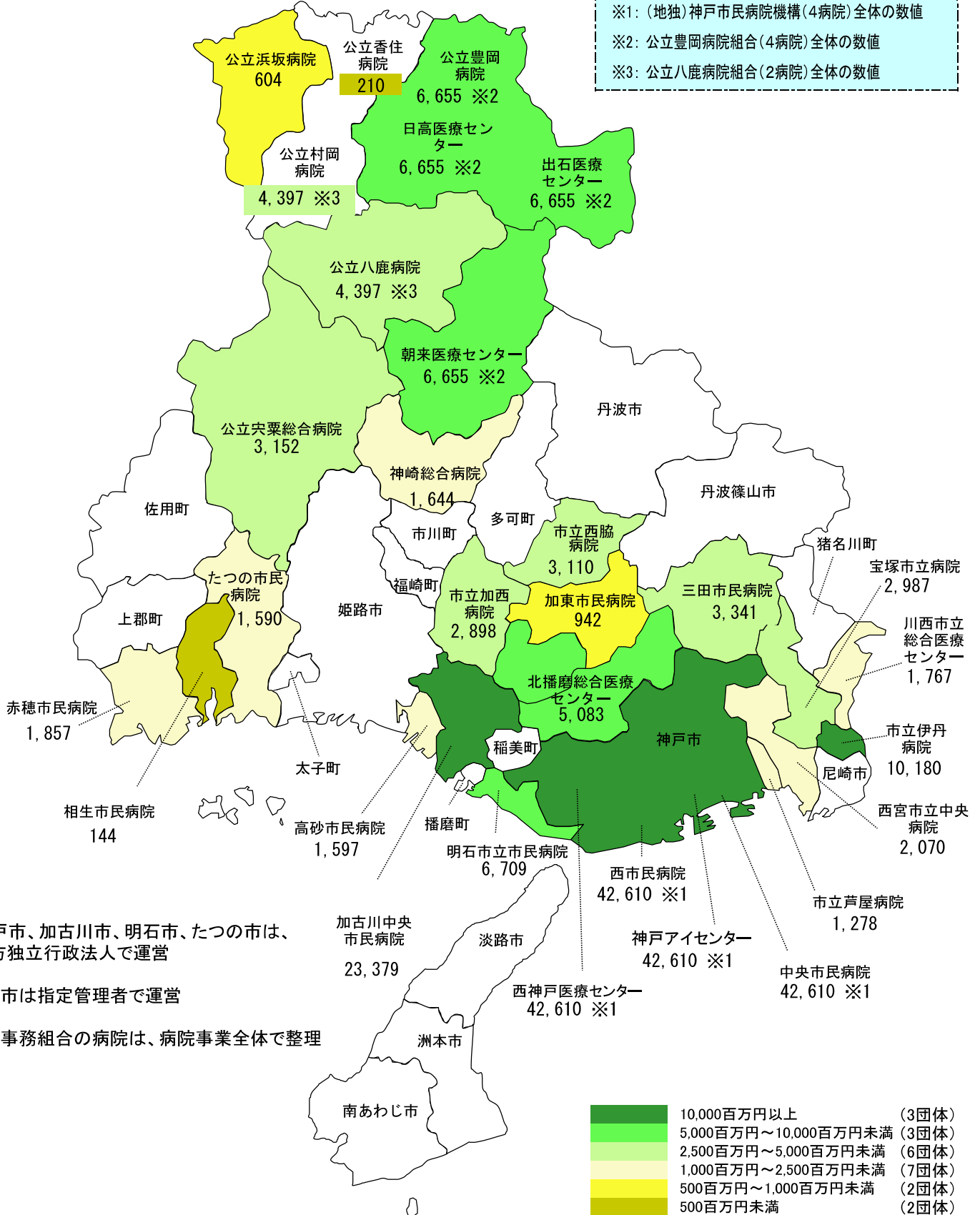
病院事業【2-5】（参考指標）資産（現金及び現金同等物）の状況

算式：流動資産 + 投資その他の資産 - 一時借入金

（単位：百万円）

※ 投資その他の資産：長期貸付金・基金・投資有価証券

※1：（地独）神戸市民病院機構（4病院）全体の数値
 ※2：公立豊岡病院組合（4病院）全体の数値
 ※3：公立八鹿病院組合（2病院）全体の数値



※ 神戸市、加古川市、明石市、たつの市は、地方独立行政法人で運営

※ 川西市は指定管理者で運営

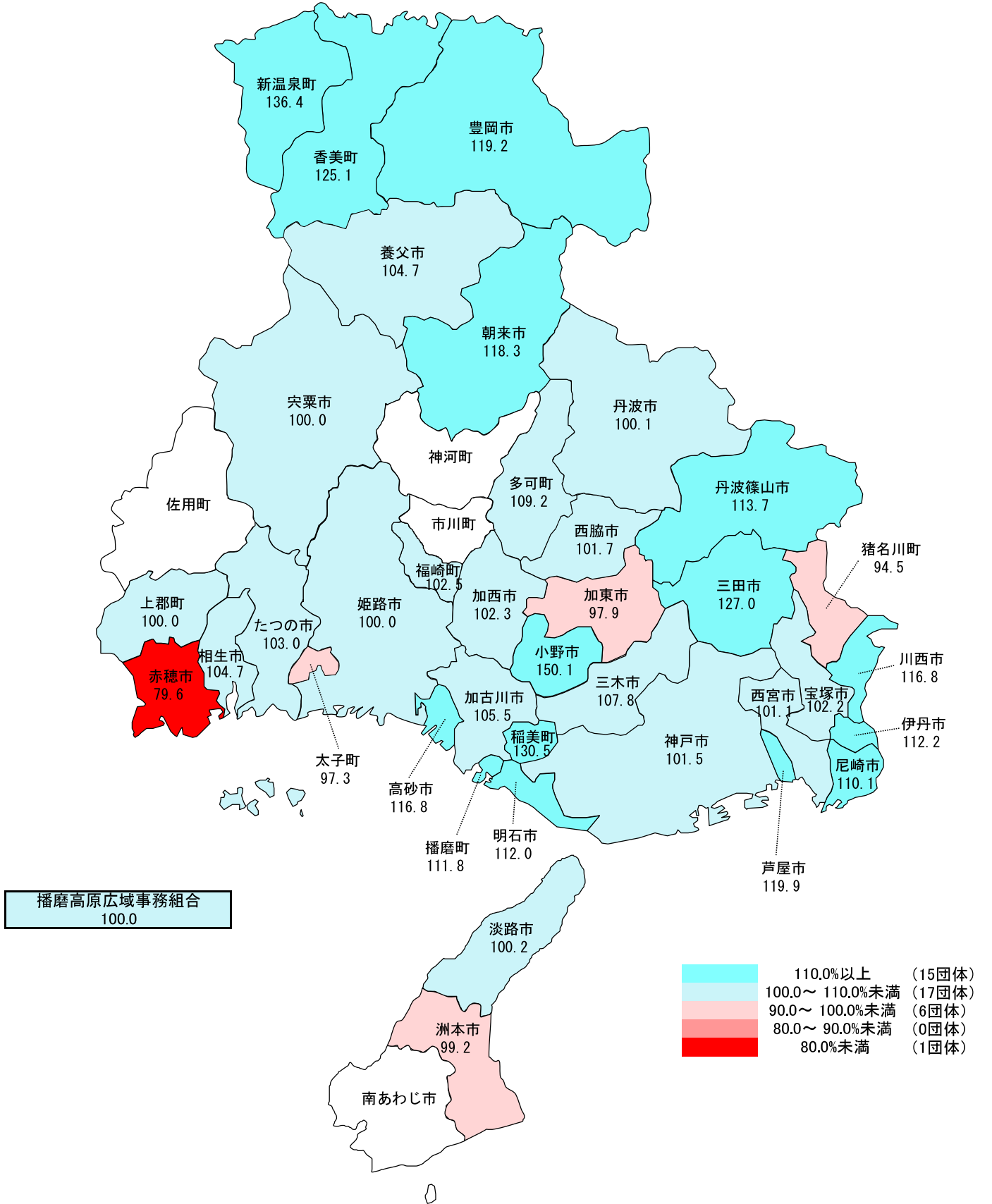
※ 一部事務組合の病院は、病院事業全体で整理

下水道事業
【3-1】 公共下水道(法適用)の経常収支比率の状況

(単位: %)

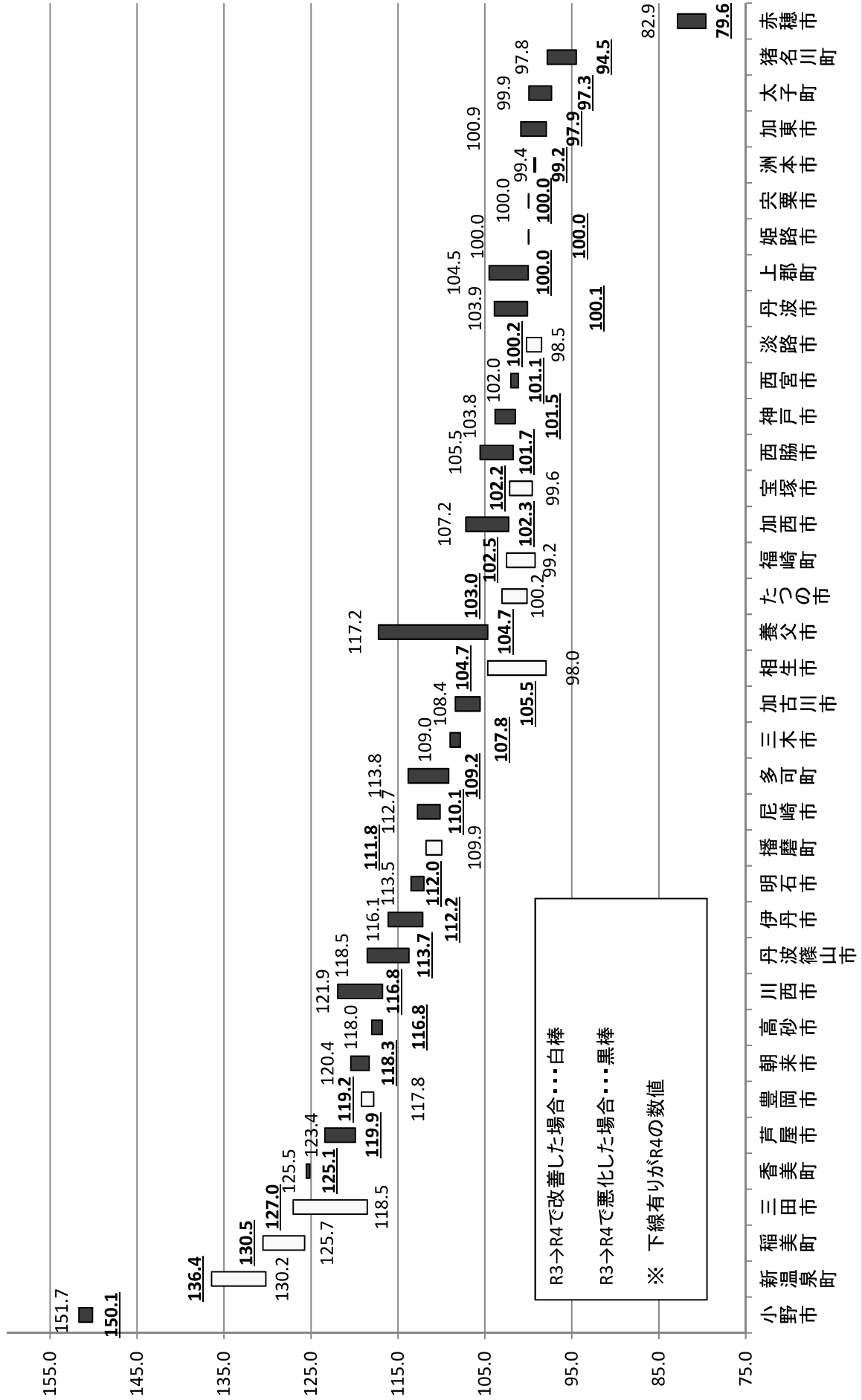
	R3	R4
県内平均	110.2	109.1

※加重平均による



下水道事業（公共）の経常収支比率の対前年度比較

(単位：%)



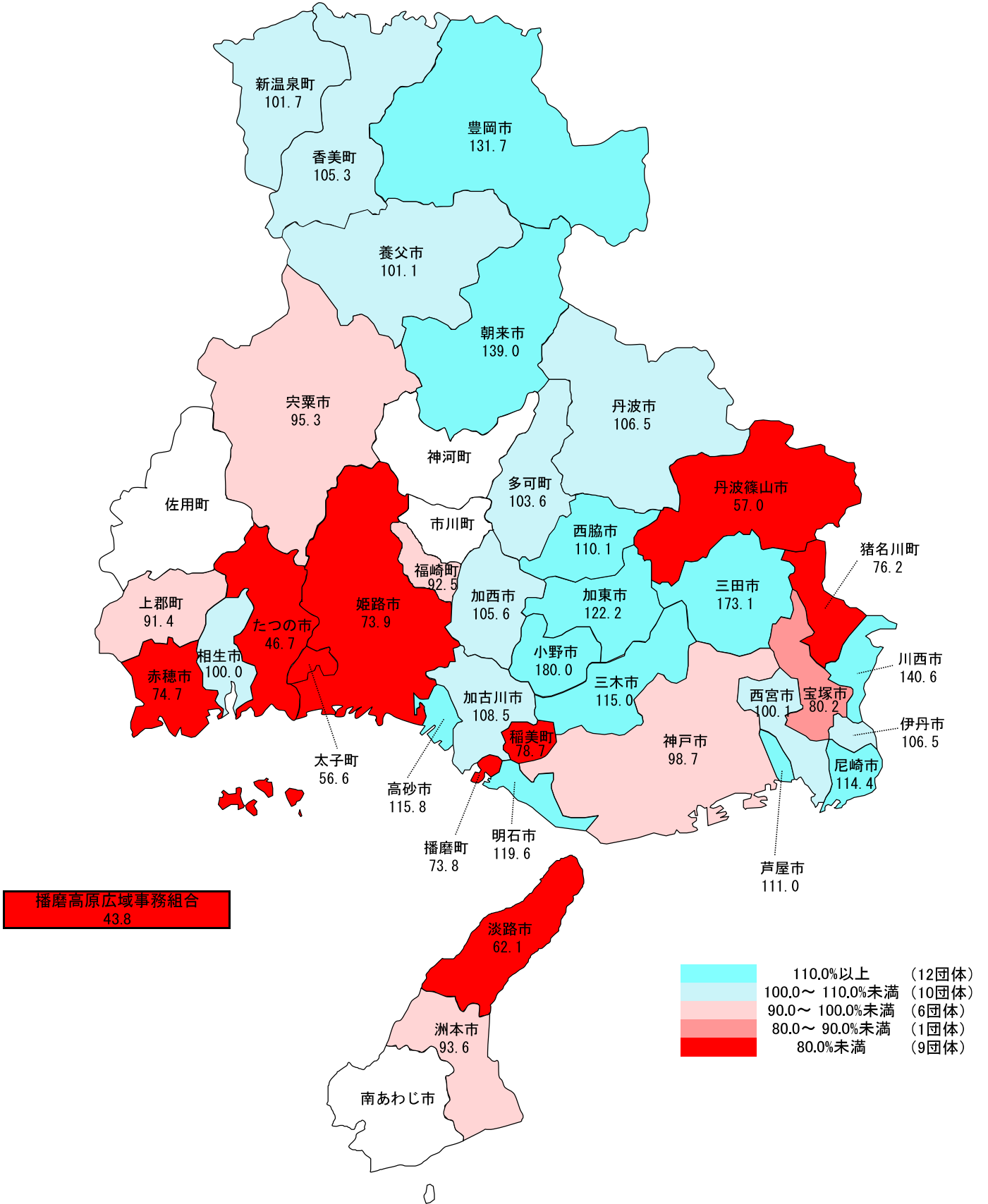
R3→R4で改善した場合・・・白棒
 R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
 ※ 下線有りがR4の数値

下水道事業
【3-2】 公共下水道(法適用)の経費回収率の状況

(単位:%)

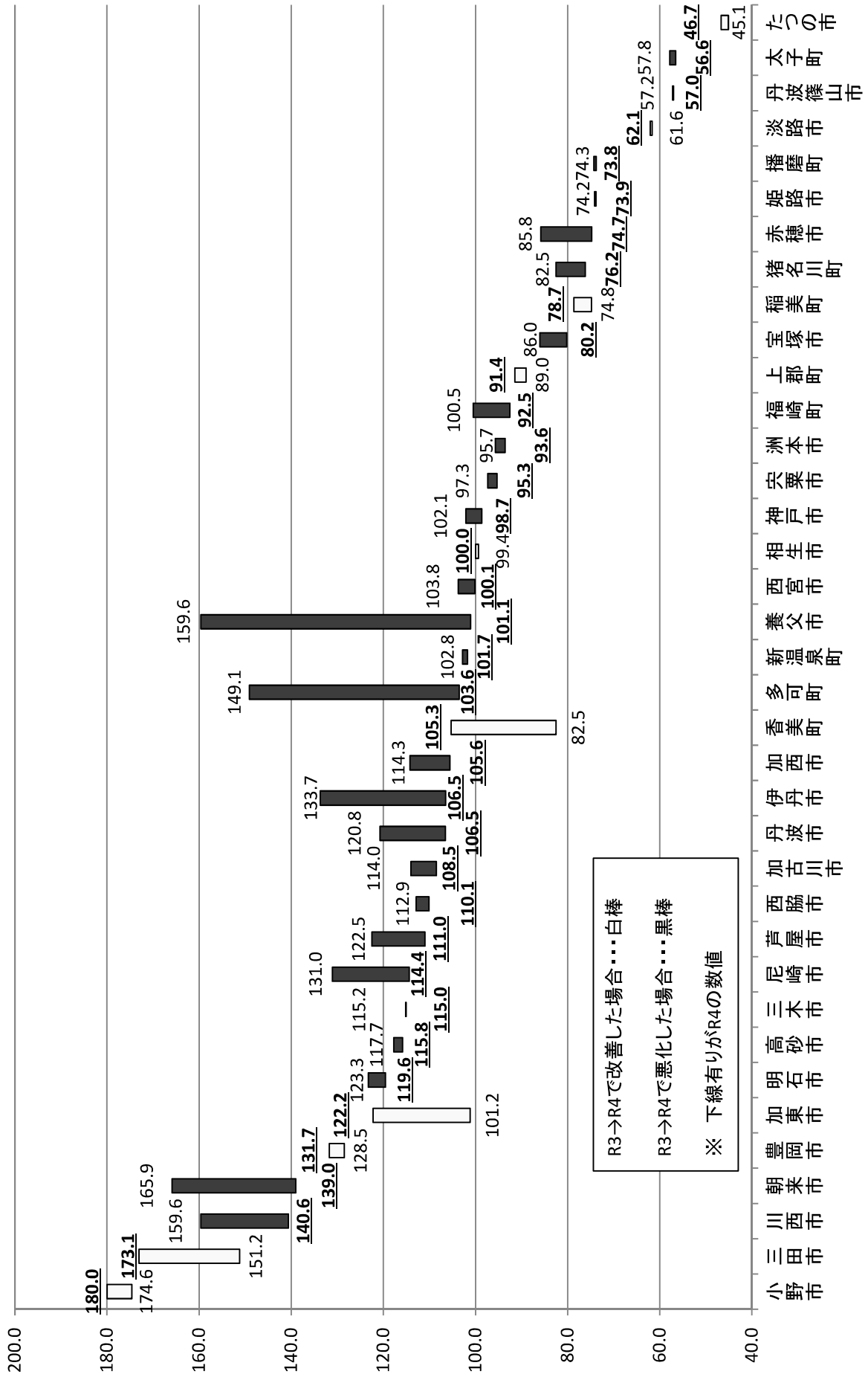
	R3	R4
県内平均	107.2	101.7

※加重平均による



下水道事業(公共・法適用)の経費回収率の対前年度比較

(単位: %)



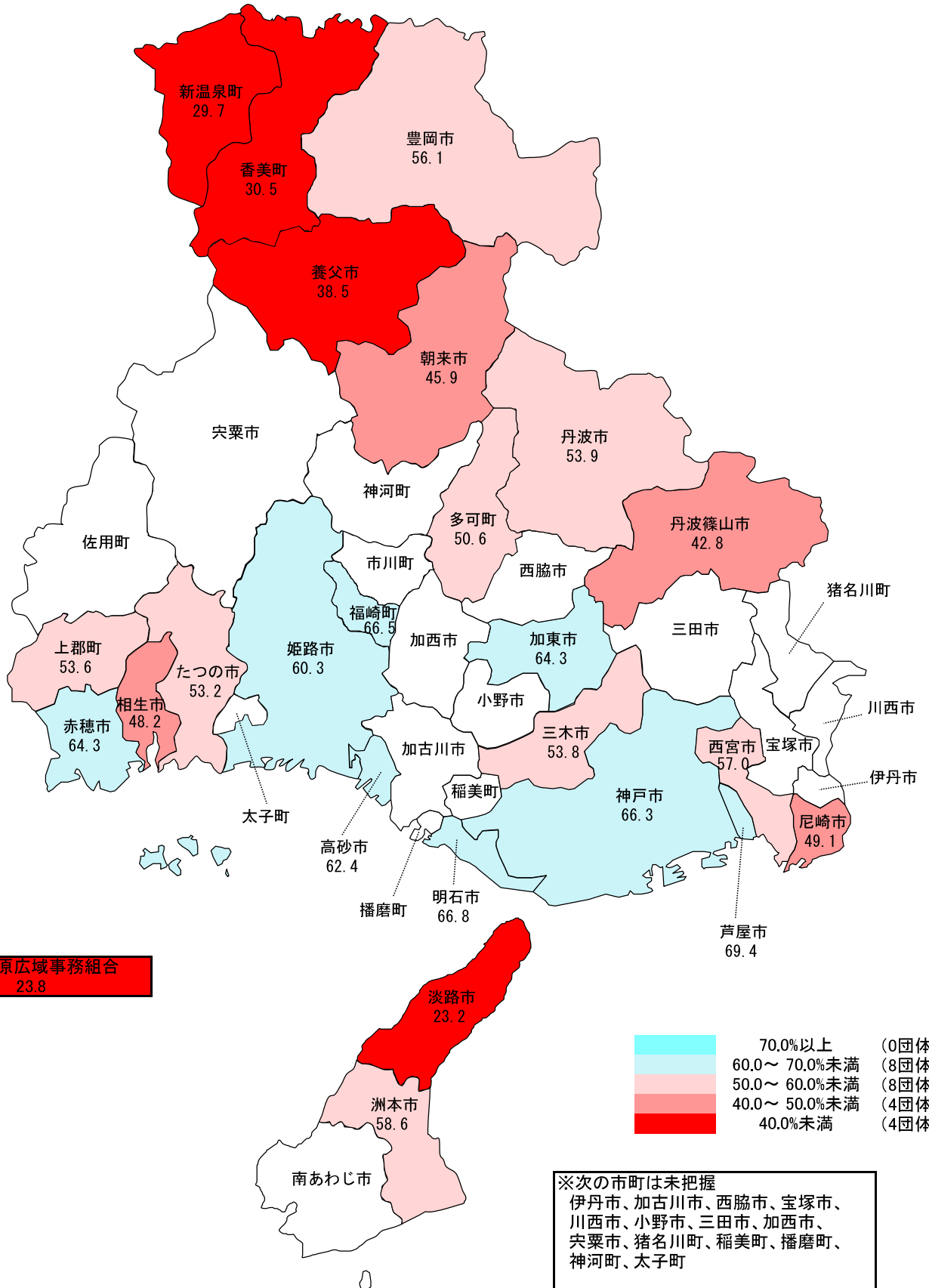
R3→R4で改善した場合・・・白棒
 R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
 ※ 下線有りがR4の数値

下水道事業
【3-3】 公共下水道の施設利用率の状況

(単位: %)

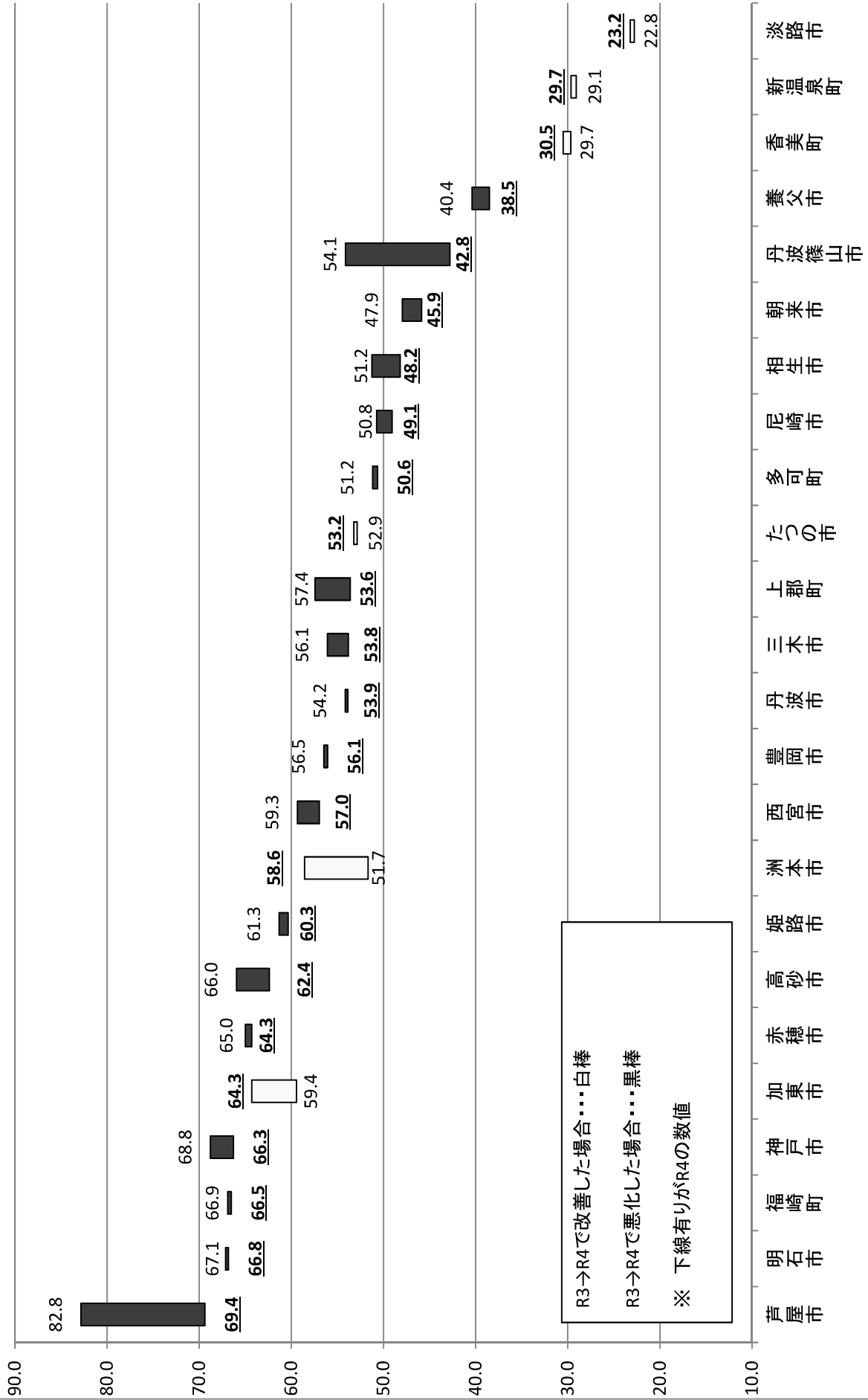
	R3	R4
県内平均	53.0	52.7

※加重平均による



下水道事業（公共）の施設利用率の対前年度比較

(単位: %)



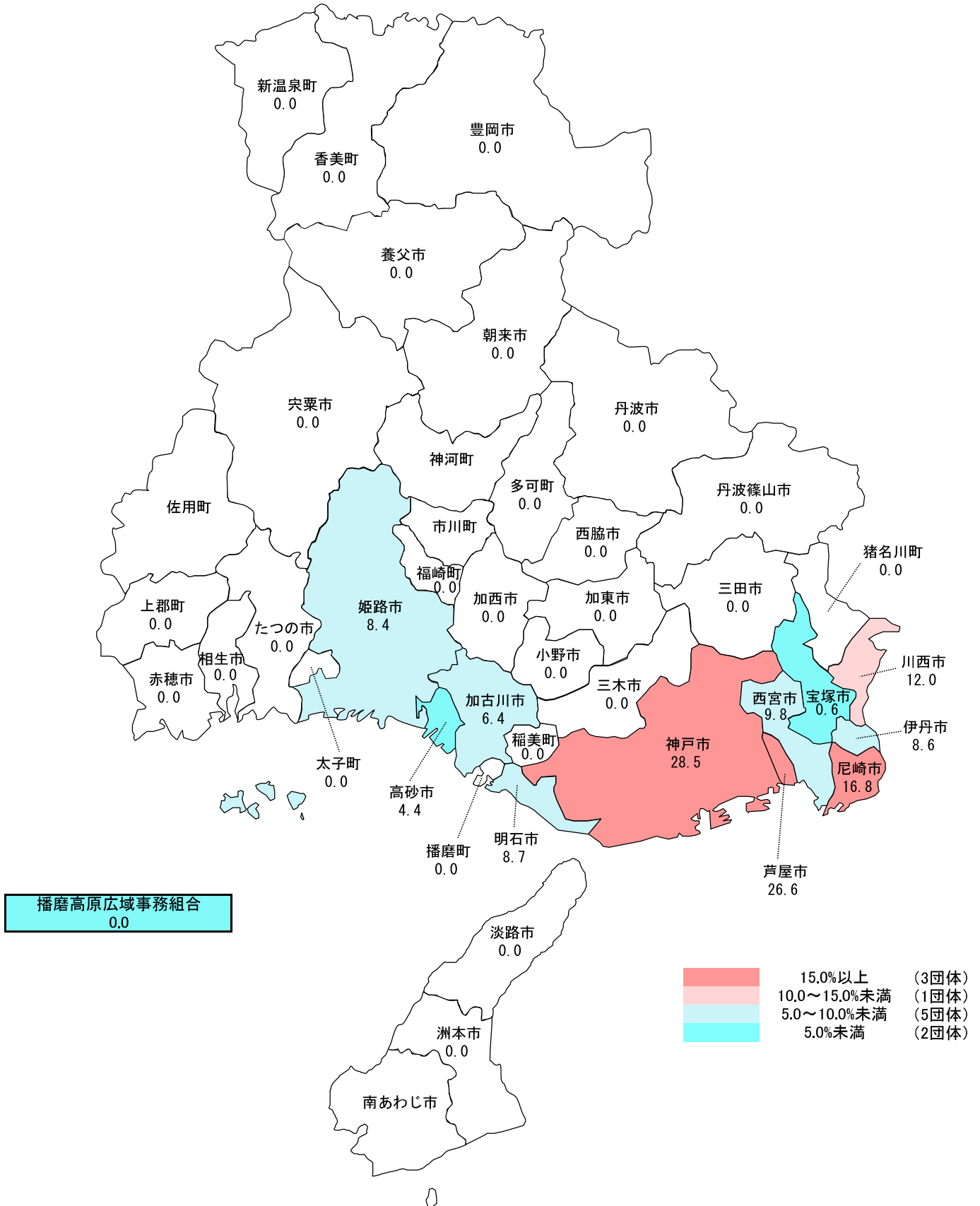
R3→R4で改善した場合・・・白棒
 R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
 ※ 下線有りがR4の数値

下水道事業
【3-4】 公共下水道(法適用)の管渠老朽化率の状況

(単位:%)

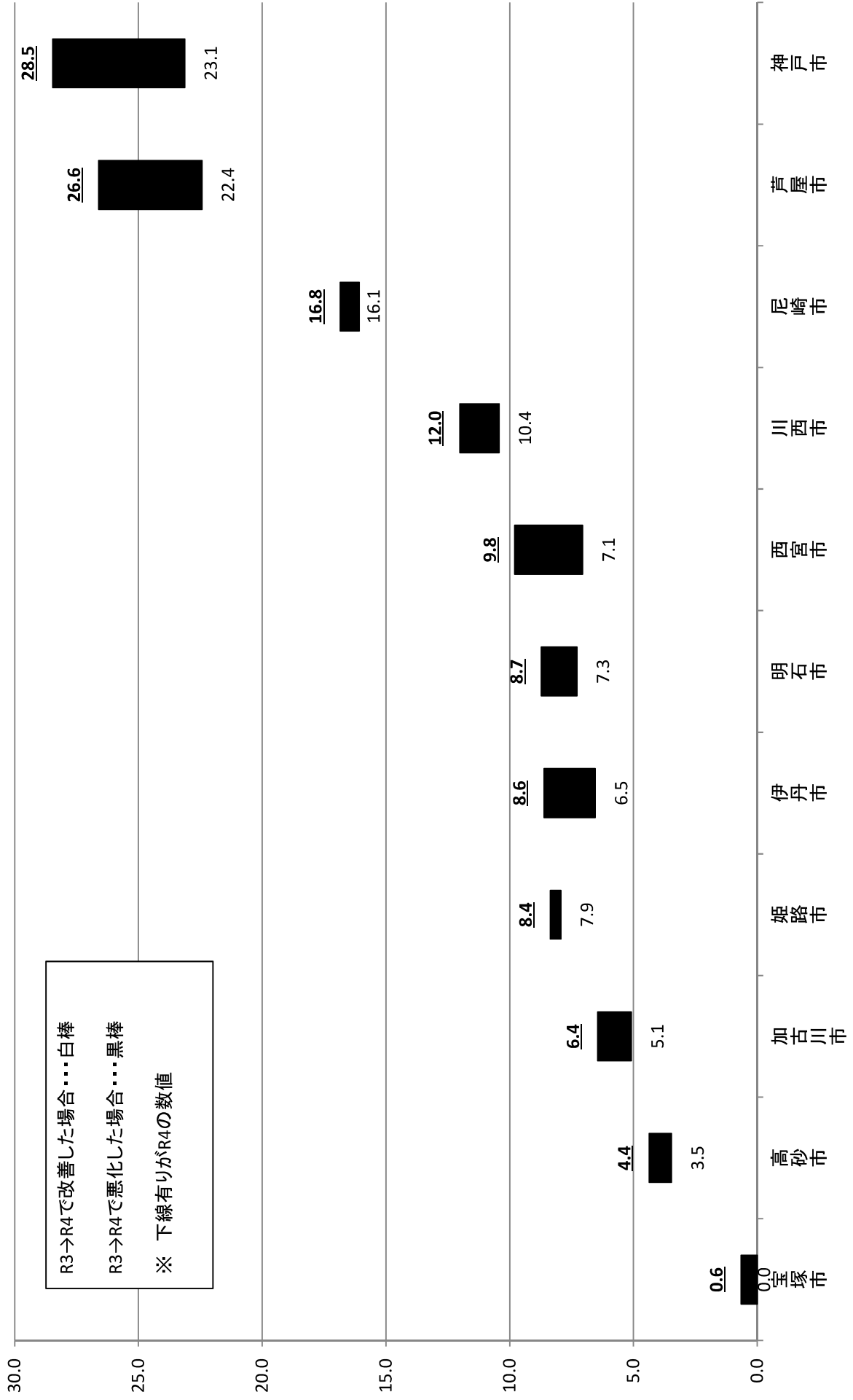
	R3	R4
県内平均	3.0	3.5

※加重平均による



下水道事業（公共）の管渠老朽化率の対前年度比較

(単位：%)



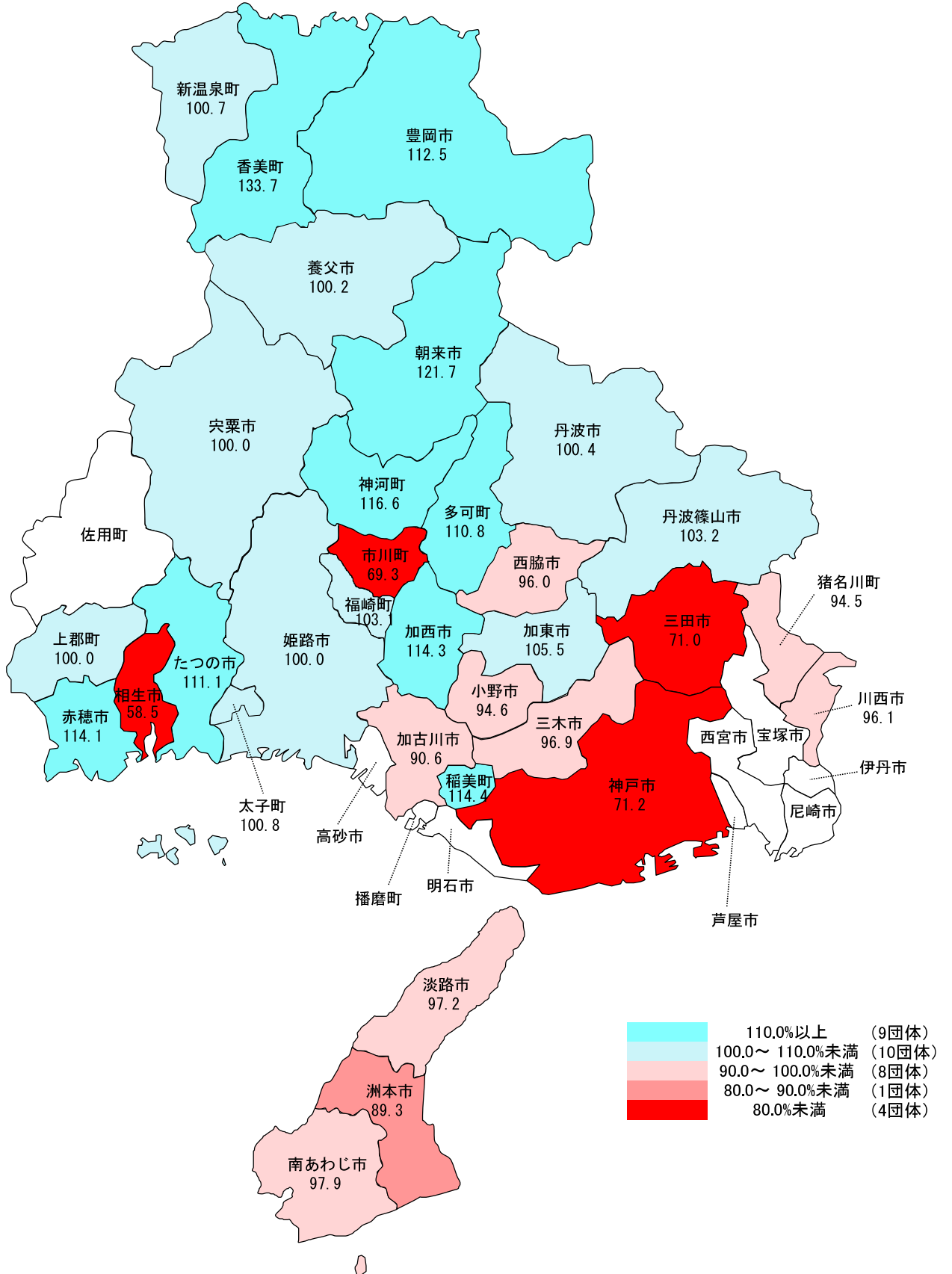
下水道事業
【3-5】

特定環境保全公共下水道(法適用)の経常収支比率の状況

(単位:%)

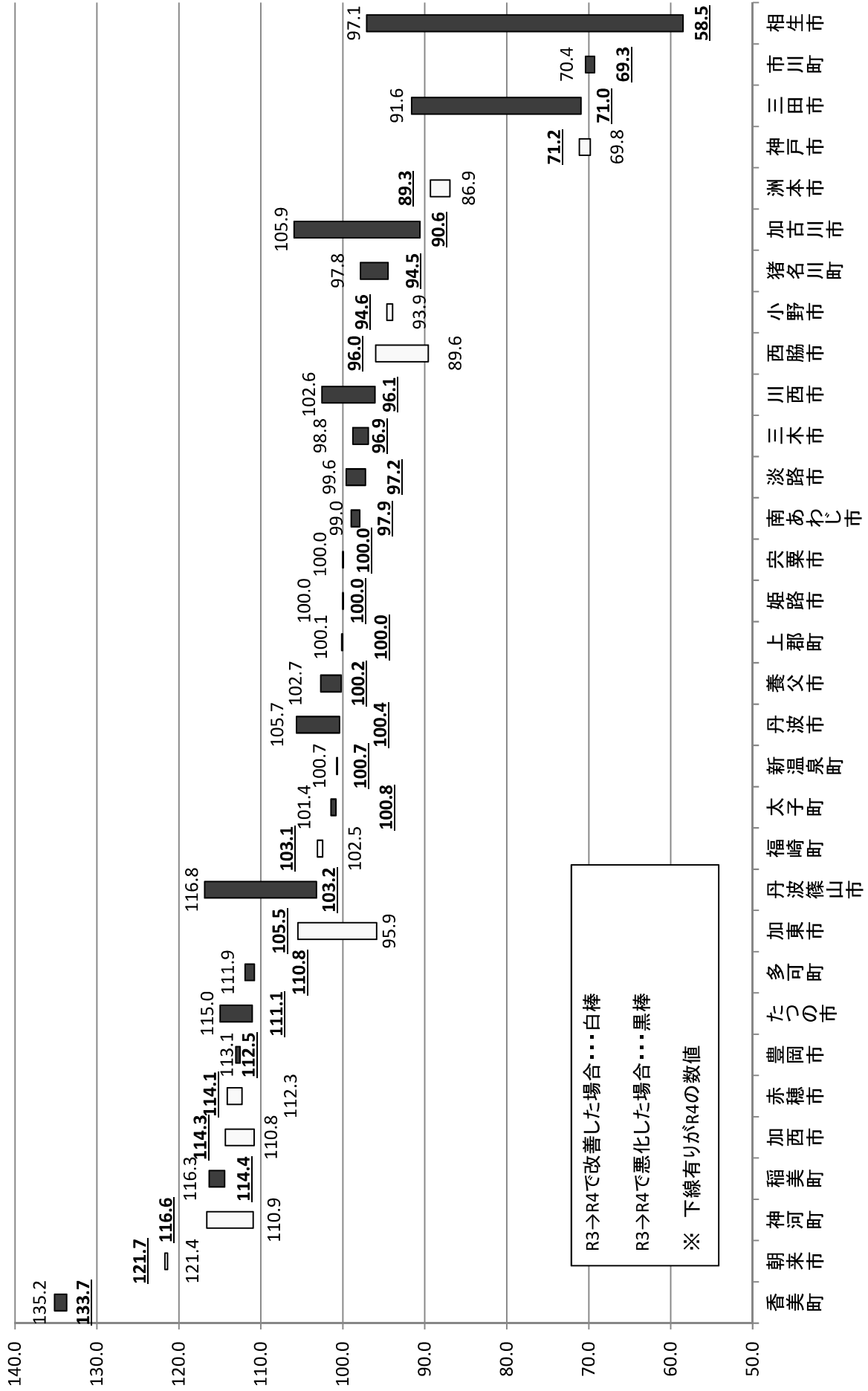
	R3	R4
県内平均	102.4	99.6

※加重平均による



下水道事業(特環)の経常収支比率の対前年度比較

(単位：%)



R3→R4で改善した場合・・・白棒
 R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
 ※ 下線有りがR4の数値

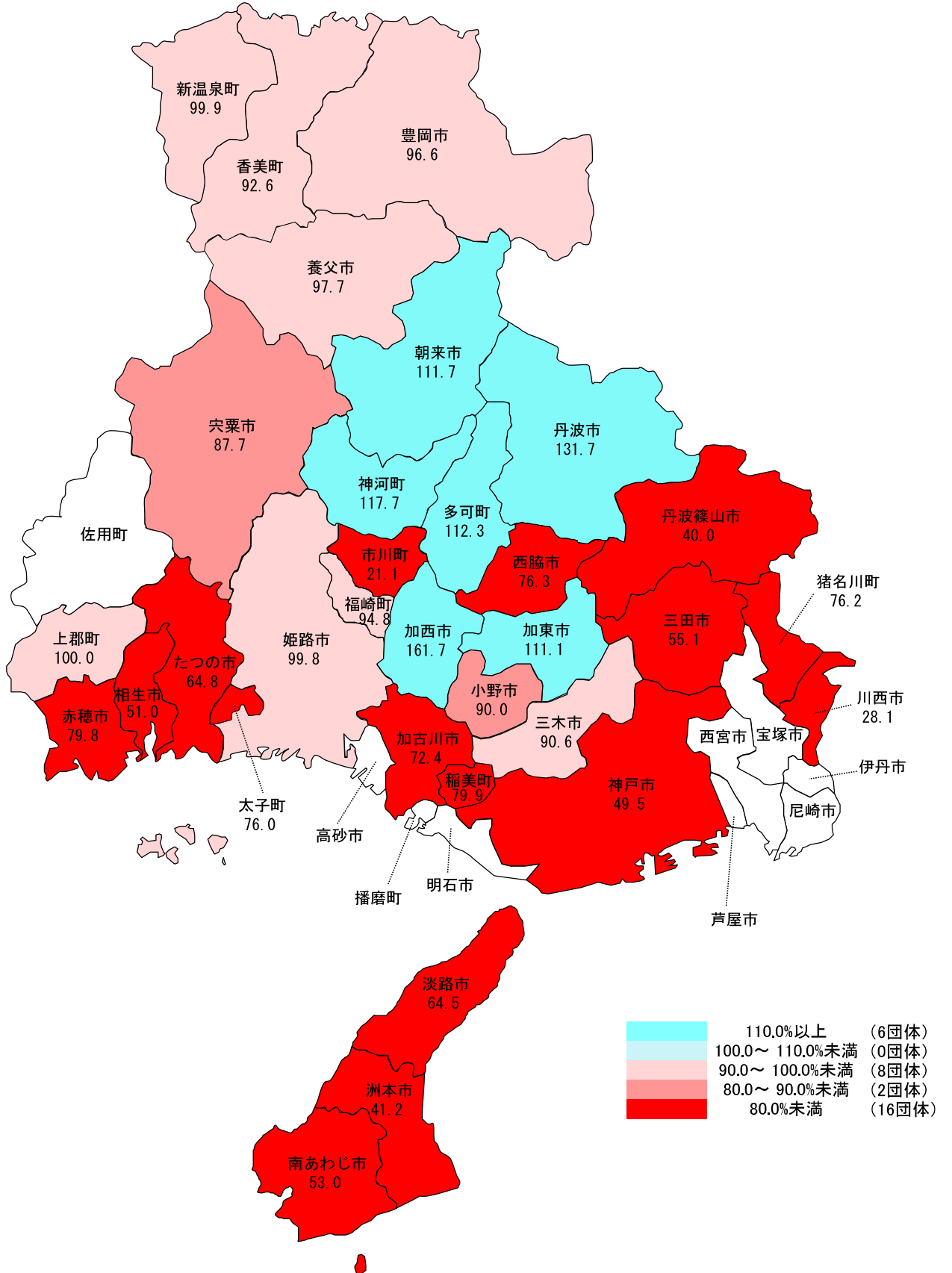
下水道事業
【3-6】

特定環境保全公共下水道(法適用)の経費回収率の状況

(単位: %)

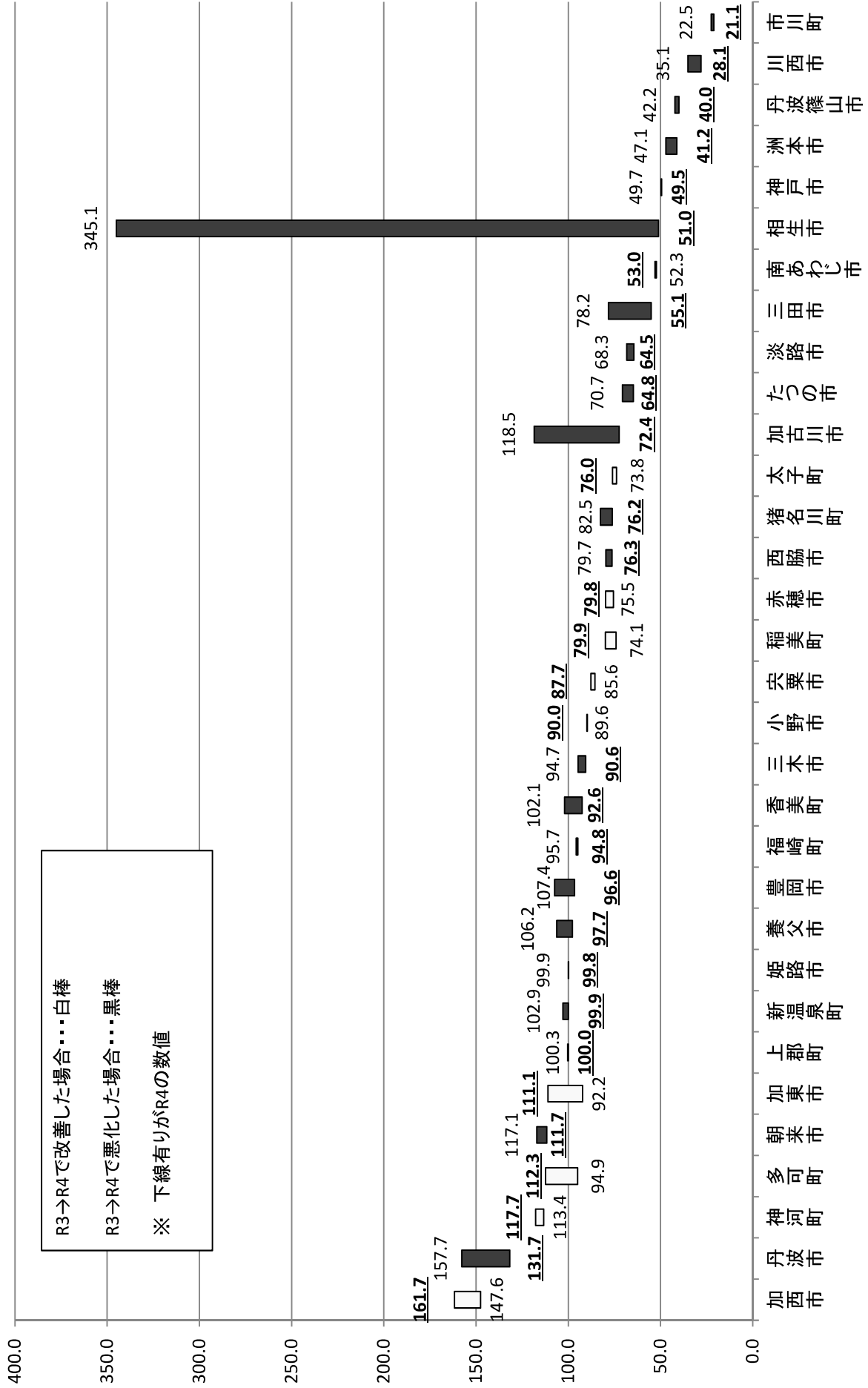
	R3	R4
県内平均	94.4	82.0

※加重平均による



下水道事業(特環・法適用)の経費回収率の対前年度比較

(単位: %)



下水道事業
【3-7】

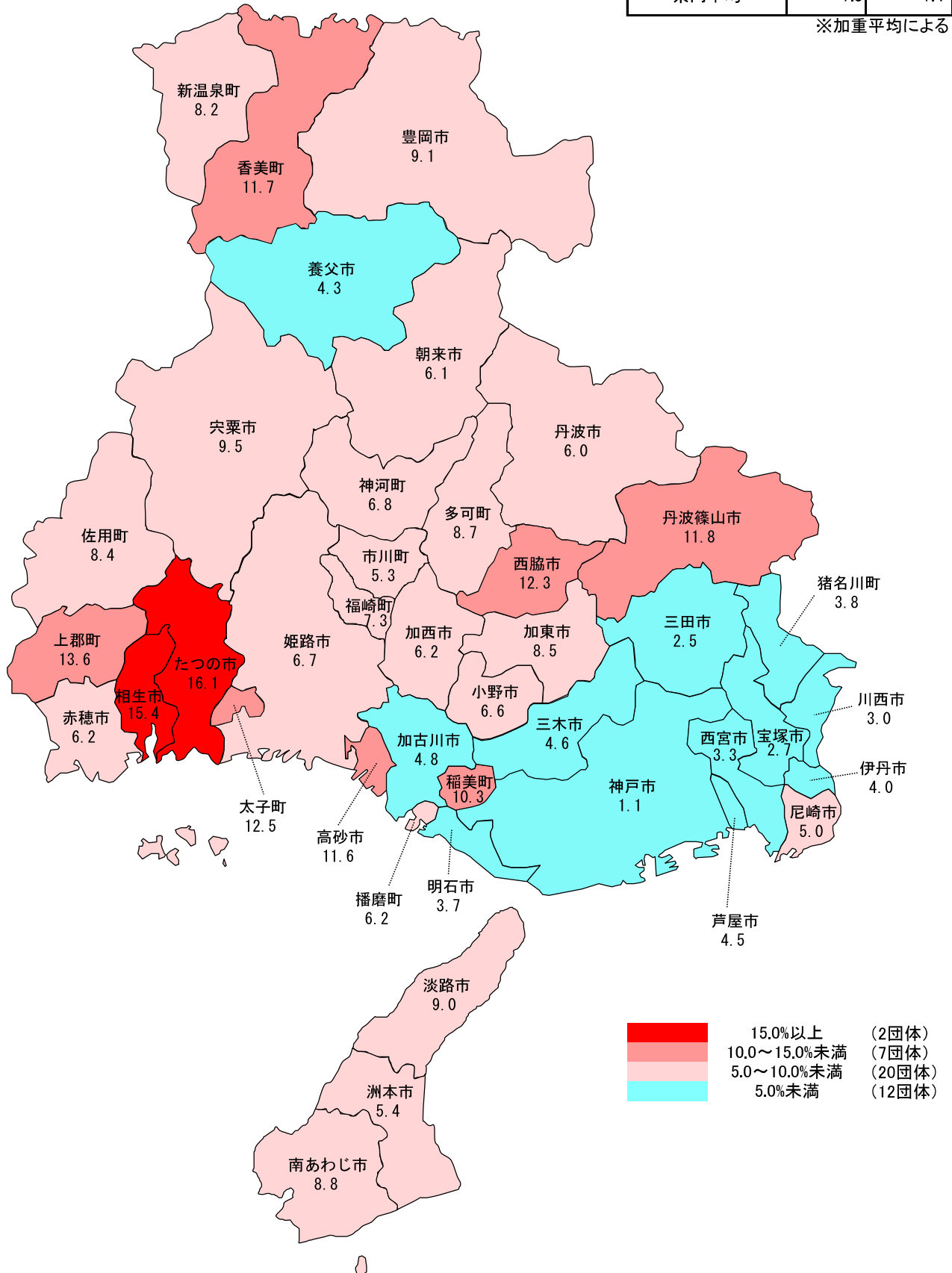
一般会計等繰入金が標準財政規模に占める割合の状況

※一般会計等繰入金は、農業集落排水事業等を含めた下水道事業会計への繰入金

(単位:%)

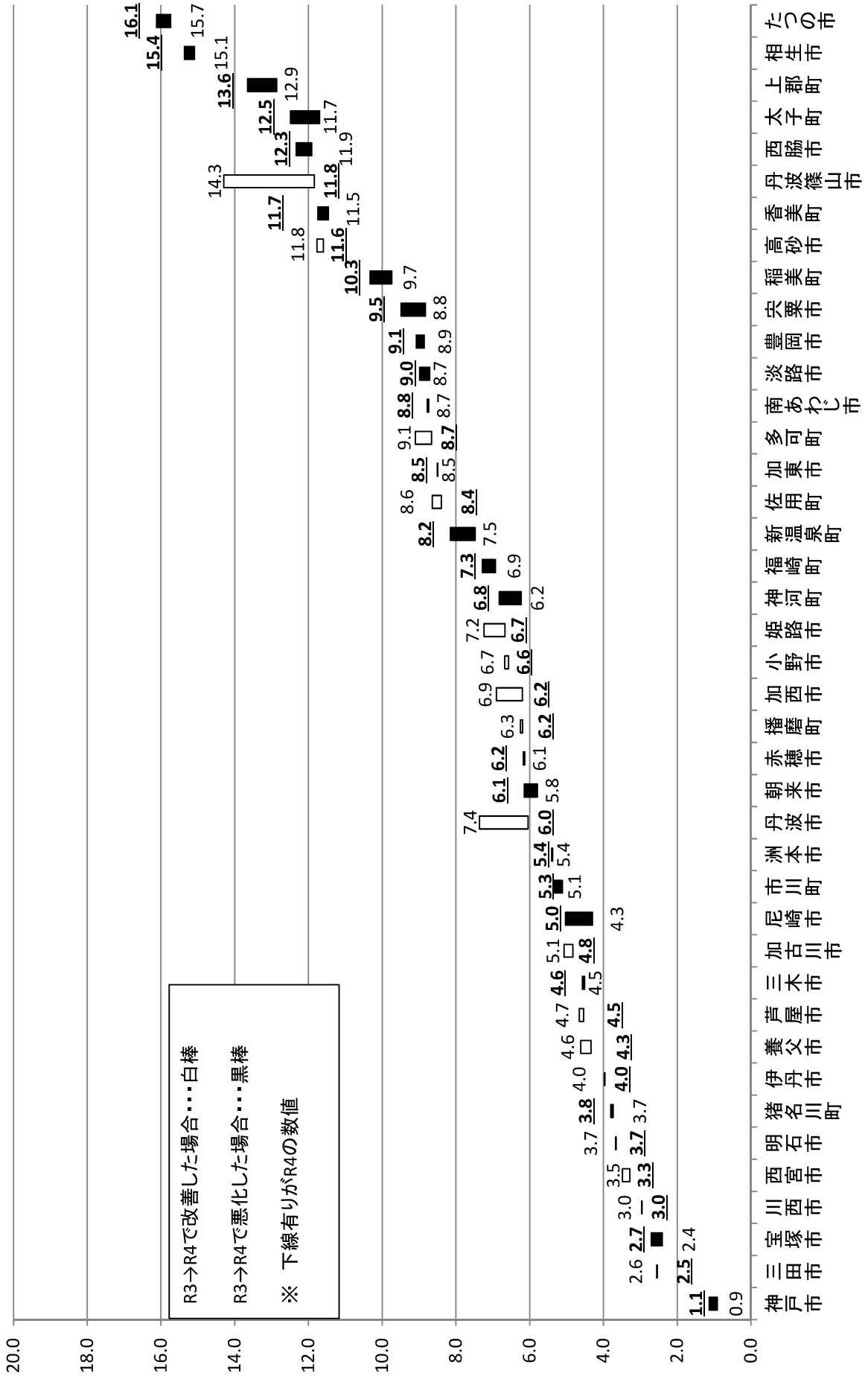
	R3	R4
県内平均	7.3	7.4

※加重平均による



下水道事業の繰入金対標準規模の対前年度比較

(単位: %)



R3→R4で改善した場合・・・白棒
R3→R4で悪化した場合・・・黒棒
※ 下線有りがR4の数値

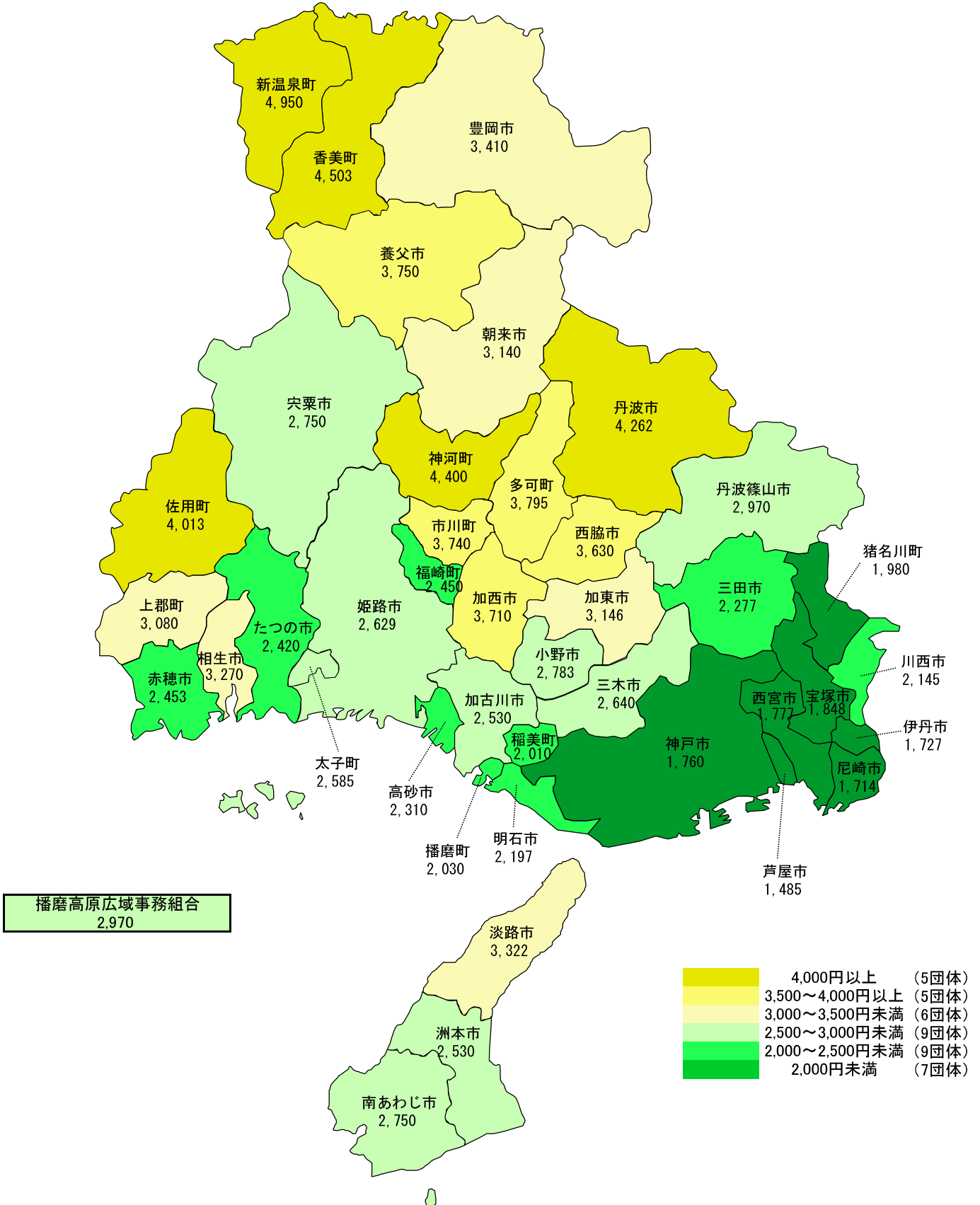
下水道事業
【3-8】

下水道使用料(家庭用20m³/月、税込)の状況(令和5年3月31日時点)

(単位:円)

	R3	R4
県内平均	2,842	2,851

※単純平均による

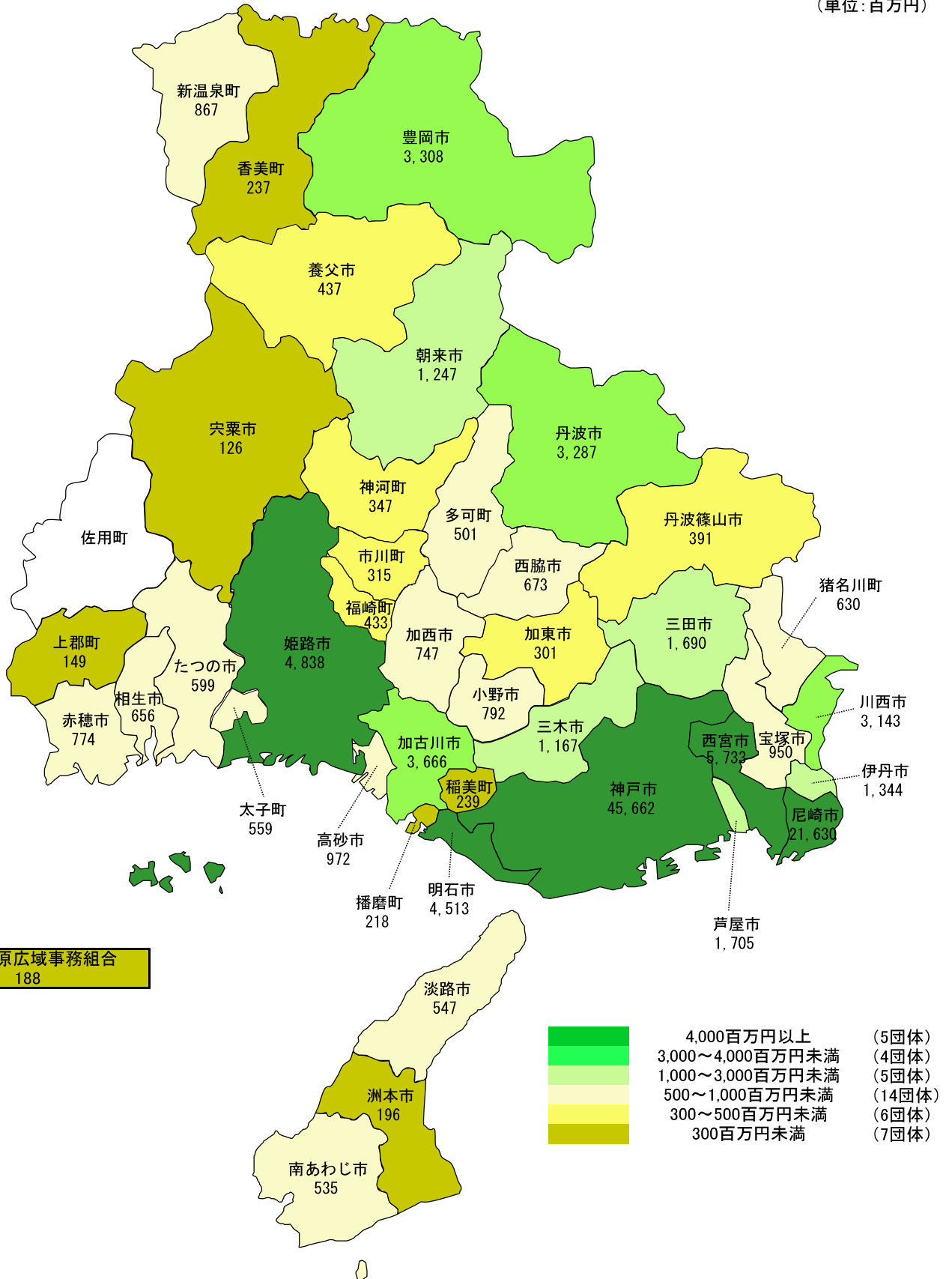


(参考指標) 資産(現金及び現金同等物)の状況

算式:流動資産 + 投資その他の資産 - 一時借入金

※ 投資その他の資産:長期貸付金・基金・投資有価証券

(単位:百万円)



各指標の説明

1. 経営の健全性・効率性を見る指標		
指標	指標番号	算 出 方 法
指 標 の 見 方		
経常収支比率（％） （法適用企業）	水 1 - 1 病 2 - 1 下 3 - 1 下 3 - 5	$\frac{\text{経常収益(営業・医業収益+営業外・医業外収益)}}{\text{経常費用(営業・医業費用+営業外・医業外費用)}} \times 100$
<p>営業活動によって得た収益と関連する収益の合計を、営業活動に要する費用と関連する費用の合計で除して求められる指標であり、収益で費用がどの程度賄えているかを表しています。</p> <p>100%未満の場合は、収益的収支が均衡しておらず、赤字の状態となっています。公営企業は独立採算を前提としているため、この比率が100%以上となるよう、収益と費用の内容分析を行い、赤字原因を解消していく必要があります。</p> <p>また、営業外収益には一般会計繰入金も含まれているため、この比率が100%以上となった場合や前年比増となった場合においても、その要因が、公営企業の営業活動による利益と一般会計繰入金のいずれによるものかに留意する必要があります。（一般会計繰入金が多額の場合は、一般会計側への財政状況にも留意する必要があります。）</p>		
医業収支比率（％）	病 2 - 2	$\frac{\text{医療収益}}{\text{医業費用}} \times 100$
<p>病院の本業である医業活動から生じる医業費用が、医業収益で賄われるか、収益性を見る指標であり、収益で費用がどの程度賄えているかを表しています。</p> <p>100%未満の場合は、医業費用を医業収益で賄えておらず、経営状況が健全でないことになるため、改善に向けて検討することが求められます。</p> <p>なお、医業収支比率における地方独立行政法人の医業収益は、公営企業と同様に、「入院収益」「外来収益」及び室料差額収益等の「その他医業収益」並びに地方公営企業法施行令第8条の5第1項第3号の経費に係る繰入金のうち、救急医療の確保、保健衛生行政事務に要する経費の合計としています。</p>		

1. 経営の健全性・効率性を見る指標

指標	指標番号	算出方法
指標の見方		
職員給与費対医業収益比率 (%)	病2-3	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$
<p>医業収益の中で、職員給与費が占める割合を表す指標です。</p> <p>病院事業は人的サービスが主体であり、費用のうち、職員給与費が最も高い割合を占めています。この比率が高い病院においては、職員配置や給与表、特殊勤務手当等が適切かどうか、検討する必要があります（地方独立行政法人の医業収益は、医業収支比率と同様の計上方法による）。</p>		
料金回収率 (%)	水1-2	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$
<p>給水に係る費用が、どの程度、給水収益で賄えているかを表した指標であり、本業での収益性を評価することが可能です。</p> <p>100%未満の場合、給水に係る費用が給水収益で賄われていないことを意味し、数値が低い場合、適正な料金収入の確保または給水原価の削減が必要です。</p> <p>供給単価 $\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$ (円/m³) 給水原価 $\frac{\text{経常費用}-(\text{受託工事費}+\text{附帯事業費}+\text{材料及び不用品売却原価}+\text{長期前受金戻入})}{\text{年間総有収水量}}$ (円/m³)</p>		
経費回収率 (%)	下3-2 下3-6	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費}} \times 100$ ※公費負担分を除く
<p>使用料で回収すべき経費を、どの程度、使用料で賄えているかを表した指標であり、本業での収益性を評価することが可能です。</p> <p>100%未満の場合、汚水処理に係る費用が使用料収入で賄われていないことを意味し、数値が低い場合、適正な使用料収入の確保または汚水処理費の削減が必要です。</p>		

2. 施設・設備の状況を見る指標

指標番号	算出方法
指標の見方	
上1-3	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$
<p>施設が1日に対応可能な能力に対する、1日平均の対応量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。</p> <p>一般的には高い数値であることが望まれ、経年比較や類似団体と比較して数値が低い場合には、施設が遊休状態ではないか等、適正規模となっているか分析する必要があります。</p>	

3. 老朽化の状況を見る指標

指標	指標番号	算出方法
指標の見方		
管路経年化率 (%)	水1-4	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$
<p>法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標であり、管路の老朽化度合を示しています。</p> <p>数値が高い場合には、法定耐用年数を経過した管路を多く保有しており、安心安全な飲料水を供給するため、適切な更新等、見直しを行う必要があります。</p>		

4. その他の指標

指標	指標番号	算出方法
指標の見方		
一般会計等繰入金が標準財政規模に占める割合 (%)	上1-5 病2-4 下3-7	$\frac{\text{一般会計からの実繰入額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
<p>各自治体の標準財政規模に対する、一般会計からの繰入金の実繰入額の割合を表した指標です。</p> <p>この割合が高い場合、当該公営企業経営が自治体財政に与える影響が大きい状況となっているため、経営の動向により一層留意する必要があります。</p>		
【参考指標】 資産（現金及び現金同等物） の状況	上1-7 病2-5 下3-9	流動資産 + 投資その他の資産 - 一時借入金 ※投資その他の資産（長期貸付金、基金、投資有価証券）
<p>現金及び比較的短期間のうちに回収され又は販売されることによって現金に換えることのできる資産の額である流動資産と、資産が固定化する長期資産（長期貸付金、基金、投資有価証券）の合計額について表しています。ただし、年度途中の一時的な資金不足を補う短期の借入金については合計数値から除しています。</p> <p>類似団体と比較して数値が低い場合には、資産（現金及び現金同等物）が適正規模となっているか分析する必要があります。</p> <p>※経営比較分析に使用する経営指標ではないため、参考指標としてください。</p>		



Hyogo
Prefecture

令和5年9月

兵庫県総務部市町振興課